明治三十九年八月十八日第三種郵便物認可

京城日報

(年中無休刊)

本紙一部金四錢 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九百番 [illegible]

十月十六日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

和議樂悲兩樣

靳總理樂觀說＝實際は如何

靳總理は南方實力派とは已に充分の聯絡あるを以て南方和平派の一の實を擧ぐるは決して悲觀するに足らずと思惟せるが如し斯くて李南京督軍に對し南方派の統一を懇囑し著々成功を期しつゝあり王代表よりも亦政府に向け近日上海の情勢は日に比して險惡ならず和局決して我より破裂せしめずと電報あり又陸榮廷氏は一意戰和の議を厭はざるの態度なれば早晩南北統一の實現を見るべしと北京政府部內にて觀測する者多きも實際は決して樂觀を許さゞるべし(北京電報)

對北聯絡と防止

西南の强硬論者は密使を北方各省に派し聯絡を執らんとするの說あり依つて政府は十三日各省に對し嚴重に之が防止方を訓令せり(北京電報)

新銀行團問題研究

新銀行團問題に關し丁抹、瑞典、葡萄牙駐在各公使より政府は愼重に研究せざるべからざる意味の電報を寄せ來たれり(北京電報)

吳氏內務總長部務代理

總統府側の消息に依れば吳炳湘氏を內務總長部務代理たらしむることに內定し十四日の國務會議に討議さるべし(北京電報)

總督指示事項(一)

道知事に對し

道知事會議に於ける齋藤總督の指示事項左の如し

官房事務に關する件

孝子節婦義僕等の表彰 朝鮮に於ける孝子節婦義僕其の他卓越せる篤行者の表彰は隨時之を行へりと雖此の機會に於て全道に渉り是等篤行者の表彰を行ふは民風の涵養並に民心の作興上に極めて有益なりと信ずるが故に此際各位に於ても愼重調査の上該當者あらば速に稟申せられんことを望む

土木に關する件

道路用地の寄附並夫役 道路の改修は從來慣行の美風存ありて特種工事を除くの外地方夫役を利用し用地は寄附に依り施行するの例なりしも時勢の推移に伴ひ爾今一、二等道路の築造に關しては夫役を全廢し用地は之を買收することゝなさんとす然れども三等以下の道路の如きは主として地方的の利害と密接なる關係を有するを以て若し强て一律に夫役及用地寄附の慣例を廢止せむか地方財政の基礎尙極めて薄弱なる今日に於ては交通上必要なる道路の施設を爲すを得ず延て地方產業の發達を阻碍すること尠からざるに至るへし仍て三等以下の道路に付ては特殊の事由ある場合の外將來は地方財政上相當の實力を有するに至るまで暫らく從來の慣例に從ひ古來の美風を保維し必要なる道路の改修並修繕を遂行すへし但し夫役に付ては努めて農閑を利用し且一時に過大の負擔を爲さしめさる等其の實行の時期方法及程度に付十分の注意を拂ひ又用地の寄附に付ては寄附者の資力薄弱にして之か爲其の生活の基礎を失はんとするか如き者に付ては相當考慮を加ふる等實行上の弊なからんことを期せらるへし

旱害救濟の爲にする道路工事 旱害救濟の目的を以て本府直轄の第一期治道工事の豫定計畫を變更し平安南北、黃海、京畿の四道に亘り農民の作業に適應すへき土工部分を施行することゝしたるものあるも本工事は其の箇所の多數なると工事施行の順序方法等簡易敏速を主とするを以て用地並賃銀支拂事務は之を關係郡吏員に委任し被害民の應役に關しては面長をして其の斡旋に當らしむることゝせり是等直接の衝に當る吏員の努力と機宜の措置を怠らさる上に於て至大の關係あるを以て各位は所屬職員を指導督勵せられんことを要す

地方行政に關する件

地方民心の指導 地方民心の指導に關しては總督よりも訓示せらるゝ所あり各位は從來此に對し深甚の努力を致せりと信するも既に一旦平調を失ひたる人心の安定を期するは容易の業に非す素より之に假すに相當の日時を以てするの外なしと雖尙良民に對し煽動脅迫を加ふる徒尠からす之を放任するに於ては益民心を惡化するの虞あるを以て各位は克く思想推移の狀を察し適宜對應の處置を採り以て新政の趣旨を徹底せしめ一日も速かに民心の安定を得せしめんことを期すへし而して此の目的を達せむか爲には勿論民間有力者の力を要するを以て一致協助力に俟つへきものゝ多きを認め本府に於ても嚮に地方有力者を集め時局に關する諒解を得せしめ以て其の活動を促したるに其の多數は相當の諒解を得官憲と相呼應して民心の綏撫に盡力するの覺悟を持せるものと認めらるゝを以て各位に於ても適當に之を善導し以て一般民心の指導に貢獻せしめむことを期せらるへし

內鮮人の融合に就ては從來屢指示せる處あるも今尙內地人中往往鮮人に對し故らに倨傲の態度に出て之を蔑視するの弊なきに非らず又近來朝鮮人にして動もすれは內地人に對し反抗を敢てせむとするの風なきに非らず此の如き傾向は今日に於て之を芟除せされは朝鮮統治の將來は實に寒心に堪へさるものあるへし各位は管內の內鮮人に對し能く內鮮人融治の根義を知らしめ溫情以て相交通するの風を馴致すると共に地方識者の如きに在りては特に相互接觸の機會を與へて彼此親善を計り以て一視同仁の聖旨を徹底せしめむことを期せらるへし

地方官吏の指導督勵 今回地方廳判任官の進退を道知事に委任せられたるは單り事務の便捷を圖らむとするのみならす是亦官吏に對し周到適實なる指導監督を加へ地方行政の進展に資せしめむとするに在るを以て各位は其の選叙に深甚の注意を拂ひ適材を適所に配置し之が指導督勵に遺憾なきを期すると共に現下の狀勢に鑑み豫算の許す範圍內に於て可成厚遇の道を講せらるへし而して近來思想の變遷と物價昂騰に伴ふ生活の脅威を受け官吏一般に意を安せさる徵なきにあらさるのみならす今回官制の改正及之に伴ふ職員の異動に依り揣摩臆測を逞ふし動もすれは職務に熱心を缺くの嫌なしとせさるを以て各位は深く此の點に注意し先つ其の部下官吏の安定を圖ると同時に之か志氣を緊張し熱心其の職務に奮勵することを期せしめらるへし

地方費事業の施設 地方費事業の施設經營の方針に付ては之か變更するものあるを認め大正八年度地方費豫算に於ては特に必要なる事業を除くの外一時之を見合せしむるもの又は擴張計畫は之を見合せしむる方針を採り技術員の增員、組合の新設協議費の徵收等の計畫に付ては一應豫算を削除認可せしも將來に於ては時勢の急激なる進展に伴ひ教育、勸業、土木、救濟等施設經營すへきもの益多端なるへく之に伴ひ經費の增大を來すは避くへからさる趨勢なるへし一面朝鮮に於ける地方人民の經濟は併合後十年間朝野の努力に依り異常の進歩發達を爲したるものありと雖尙貧弱なるを免れさるものあるを以て一面地方費の事業に緊縮刷新を加ふると共に地方民の負擔の增加に付ては多大の苦心を要するものあるへく之か爲には地方行政の組織に變更を加ふる必要あるへし總督府に於ても民意暢達を期すると同時に地方民の負擔に堪へ得る適當なる措置を圖るため地方行政組織の改正に付考究中に屬すと雖各位に於ても特に事業の種類經營方法及財源の攻究に遺漏なからむことを期すへし尙地方費事業に付ては左の各項に留意ありたし

一 技術員增員のこと 技術員の數は年年增加し今や千數百人の多數を算するのみならす尙一層之を增加せむとするの傾向あり徒らに其の員數を增加せむよりも寧ろ適材を擧ぐるを可とす殊に物價昂騰の趨勢に鑑み現員に對する給與を厚くし待遇の向上を圖り以て適材を充實することを務むべし尙已むを得さる增員に付ては從來の方針の如く成るへく朝鮮人を採用せらるへし

二 各種組合新設のこと 近來產業奬勵の方便として農業、蠶業、畜產、林業等に關する組合を設置するもの漸次多きを加ふるを見る是等は當事者等に於て必要なるを感し自發的に設立するものなるに於ては固より不可なきも其の多くは地方民に於ては設立の希望なきに拘らす官に於て强て之を設立して經費の徵收をも行ふを例とし之か爲郡面事務の上に非常なる煩累を及ほし或は人民をして是等の經費も一の公課と誤認せしめ且つ年年增加する負擔に對し怨嗟の聲を放たしむるに至り施政上深く考慮を要すへきものあり斯かる組合に對する將來の措置に付ては特に攻究を望む

三 協議費又は寄附金徵收のこと 地方勸業、土木等施設に要する經費の一部を補足せんか爲協議費又は寄附金の名義を以て費用を徵收するもの今尙其の跡を絕たさるか如し是亦穩當ならさるを以て將來嚴禁せらるへし

四 恩賜金事業の經營 恩賜金事業の經營方法に就ては從來幾度の變遷ありと雖其の精神に於ては何等變改ありしにあらす然るに近來動もすれは恩賜金事業に對する地方民の感想漸く稀薄ならむとするの傾なきにあらす一面に於ては輓近世の進運に伴ひ社會救濟の施設を急務とするに至れるを以て恩賜金事業の範圍に付ては多少の變更を加ふるの必要ありと認め目下考究中に屬するも各位に於ても能く地方の實況に應じ事業の種類、經營の方法に就て攻究せられんことを望む

道警部特別任用發布

總督府道警部特別任用に關する考試規程の府令は十八日總督府官報に依り發布即日施行さるへきが右は明治四十五年四月府令を以て規定されたるものは大正八年八月勅令を以て總督府道警部特別任用に關する規定を改正せられたる結果消滅したるに依り新に本令の制定を見たるものなりと

電報取扱時間改正發布

電信取扱所の電報取扱時間中午前六時より同八時迄及び午後八時以後は至急電報に限り之れを取扱ふ旨十八日告示を以て布さるべきが右改正の理由は從來電信取扱所の電報取扱時間を特定告示せるもの、中には汽車發著時刻其他鐵道職員服務等の關係上其の時間區々に渉り居ること幾に改正されたる取扱時間以外に亘れるものは其取扱を一定するの必要を認めたるに依るものなり

外蒙古歸順と支那

東亞の爲め慶すべし

外蒙古政府は北京政府蒙藏院に對し外蒙古は此際自治を取消し外交內政、軍事の三大權を支那政府に復歸し單に活佛の宗敎管掌と將來外蒙に省を設置し人民の參政權賦與とを條件として之を提議せりとの說あり、蓋し這は露國の現情に鑑み寧ろ

自然の成行 と看るべき也、抑も庫倫政府の獨立を宣言したるは全く舊露政府の傀儡に出たるものにして露國政府は一方活佛を擁して蒙古王公中の有力者にして當時庫倫政府の總理大臣たりし三音諾顏汗と露蒙協約を締結して外蒙に對しその勢力扶植の地歩を確立し特殊利權の獲得及露國軍隊の駐屯策を畫定すると共に他方北京政府に外蒙古の獨立承認を要求し幾多曲折の後結局外蒙に關する露支協約の成立を看たるものなるが

外蒙の國情 は人煙稀薄、物資乏弱、民俗猶ほ半開にして到底一國家の體を具ふるものに非ざるも蒙古人の支那に對する反感より露國の勢力と支援との下に兎に角獨立を維持し來りたるもロマノフ王朝沒落し露國の混亂現在の狀態にして內政上オムスク政府より其援助を受くること能はざるは勿論過激派の勢力烏梁海方面に侵入せる模樣あるも之に對し正規外蒙軍は國境分駐軍及び陶什陶軍下を併せて總數僅に五六百內外なれば防禦頗る困難なるものあり、傍從來王公

一部の主張 たりし對支歸順說益々勢力を得遂に北京政府對庫倫政府の交涉を見るに至りたるべきも由來蒙古人の對支反感は頗るに强烈にて現に王公中にも自治取消には極力反對しつゝあるもの尠からざるが如くなれば愈々其實現迄には猶幾多の紆餘を免れざる可しと思惟さるゝ理由あり、而して愈々外蒙古が北京政府に歸順する曉は當然露支協約に抵觸するにより支那政府はオムスク政府等露國側の

反對を招來 するに至るやも測られず、併しながら外蒙の對支歸順は西方南漸の經路にして舊露國外蒙支援の大目的たりし西伯利鐵道のウェルフネウヂンスクより恰克圖庫倫を經て直隸省張家口に出づる蒙古縱斷鐵道を結局支那側に回收する結果を生ずべきにより東亞の將來を確保する見地より大いに注目に値すべし(某消息通談)

道知事會議

＝愈終日＝

道知事會議愈終りたる十六日は午前九時半より總督府第二會議室に於て開會水野政務總監始め各局部課長全部出席直ちに日程に入り午前午後に亘り各道管內事務に就き協議したる後齋藤總督の閉會の辭に對し工藤京畿道知事の代表答辭ありて散會せり

滿鐵と電燈

京電併合說虛報

滿鐵監事京城電氣社長大橋新太郎氏等の間に鮮滿電氣事業の統一計畫あり滿鐵の經營に係る沿線主要地電燈の讓り渡しを受くべしとの說に對し確實筋につき聞く所によれば右は大橋氏等の目論見にあらず支那の事業に關係深き中日實業公司並に日鮮電氣會社の首腦者等が滿洲に於ける電氣事業の經營を企圖し今春來滿鐵重役に對しその讓り渡しを交涉中なるも滿鐵としては炭價勞銀暴騰のため現在電燈にて利益を擧げつゝあるは大連外一二に過ぎずその他は漸く收支相償若くば損失を蒙り居る由にて之れを一營利會社の手に委ぬこせば必然經營上の關係より電燈料値上をなさざるべからずかくて需要者の不利につき必ずしも電燈事業の分離に反對ならざる如きも目下の所何等進行し居らず又朝鮮電氣事業の統一と云ふ如き事は好事者の附け加へならんと

金肥自給

肥料會社計畫

松平東拓理事の談

東拓並に大倉系の實業家により資本金三百萬圓の朝鮮肥料株式會社

設立計畫 あり本社を新義州に置く事に決定目下出願中なる事は既報したが右の計畫に付き發起人の一人たる東拓理事松平子は曰く會社の目的は豆粕を主として製造しその施興を朝鮮水田に多からしめ產米增殖の一助たらしむるにあり思ふに朝鮮水田に於ける產米增殖の捷徑は金肥の施興を焦眉の急務とする現在鮮內水田約二百萬町歩に達するであらうがその一反歩當りの米の收量は僅々七斗に過ぎないその內地の半量にも及ばぬのは要するに灌漑の不備と肥料施興の到らざる事を擧げねばならぬ若し灌漑設備を普からしめ而して豆粕の施興を行ふ事となるならば假りに一反歩當りを二枚として年額

四千萬枚 を要すべく更に畑作たる煙草や棉作や豆作の分を合すると驚く莫大な數量に上るであらう然し乍ら計畫中の肥料會社としては今日水利完備せる卅萬町歩の朝鮮水田に一反歩二枚當りを供給する目論見で結局六百萬枚を一年に生產する豫定である而して水利灌漑設備が段々完備し田が殖ね更に豆粕の需要が增大して行けば夫に伴ふて會社の製肥能力も增大して行く筈である原料の大豆は南滿產のものを直接鐵路によつて輸入し北滿產のものは浦鹽より元山を經由取寄する筈で要するに原料も製品の販路も多く頗る有望な事業と考へる或は

豆粕製造 業は滿洲に於て盛んであるから必ずしも朝鮮に企業せずとも現品を輸入したらよからうとの意見あり予等も有利に引けるならばその方法も亦可なりと考へるが何分銀相場の騰落常ならず又現品の受渡しも少からぬ不便を伴なふので今回同志と共にその自給計畫を樹てた譯である尙ほ豆粕製造に伴なふ豆油の產出は之を外國に輸出する事となつてゐる又會社の許可は年內にあつてもその成立は來春となるであらう更に

諸設備に 相當の日子を要するもその操業開始は來年中には出來ようと思ふ

產鐵許可

約三百哩

豫て藤山雷太氏外十二名より出願中なりし資本金一千萬圓の朝鮮產業鐵道株式會社設立の件は十月十六日附許可の指令ありたるが同社の敷設すべき輕便鐵道線路は金泉、安東間七十二哩三分中和、遂安間四十八哩鎭南浦、溫井里間十七哩三分孟中里、江界間百五十八哩計二百九十五哩六分なりと

財界閑話

本月の上旬まで大阪の期米と仁川の期米とは大阪で外米受渡し代用を實行してゐるため仁川が百石二圓位上鞘にあつた▲所が此の米穀令により內地の期米は鮮米が高いと云ふ材料に沸騰し今度は逆に外米代用の大阪が仁川より一圓も上鞘となる▲乃ち十五日前後の如き仁川の先物は四十三圓臺であるけれど大阪は四十四圓臺を示してゐるのである▲これは從來大阪が餘りに安過ぎたから急騰したのであらう、此の頃の急騰は値頃の平調を來したものと見てよい、唯少しく大阪も步みに乘りすぎた氣味がある▲目先へ押しあつてそして大阪仁川同鞘見當となるのが落ちつき所らしいと某米通はいつてゐる▲鮮米を大阪に搬んで大阪標準米に對比しての格落ち、運賃、金利、附減り發著手數料などを引くと大阪の外米相場に格差の七圓なにがしを加へたものと略相均しくなるからである▲內地では季節に入つたから酒造米の制限が一部で問題になつてゐる▲酒造米の制限も食料不足の事實顯著であれば免るべくもないが、角內地の大豐作、鮮米並に外米を加ふれば何等悲觀を要せぬ今日酒造米制限の必要はあるまい▲況んや酒造米は政府歲入の主力たるに於てをや恐らく爲めにするものゝ流說だらう

殖鐵募株開始

創立は來月二十日

朝鮮殖產鐵道にて屢報の如く十八日より二十二日まで株式二萬株の公募を行ふ事となりしが京城に於ける取扱銀行は鮮銀、一銀、殖銀、商銀、百三十八、漢城の七銀行にして金剛山電鐵稀有の盛況を呈し株熱旺盛の際有望株の事とて前人氣盛んなり尙ほ第一回拂込みは十一月八日より四日間にして創立總會は來月二十日京城に於て行ふべしと

東洋染織認可

豫て京城織物商金德昌等より申請中の東洋染織株式會社は十月十三日附設立認可せられたり

人事消息

▲野村龍太郎氏(滿鐵社長) ▲栗山滿鐵秘書役 滯城中の處十七日朝發大連へ

▲野津要太郎氏(滿鐵囑托) 負傷入院中の處今回退院目下自宅にて靜養中

▲久米乙彥氏(步七八附大尉) 今回仙臺地方幼年學校生徒監に補せられ此程赴任

▲谷一等主計 軍司令部附より東京被服本廠附に轉勤し二十日出發赴任の筈

▲樋口虎三氏(群山電氣會社專務) 十六日入城不知火へ

▲林茂樹氏(總督府會計課長) 總督府來年度豫算を携へ十三日出發東上の筈なりしが事務の都合に依り出發を延期する事となり今のところ時日未定なり

其の日その日

◇獨逸帝國主義の開山ビスマークと、廿世紀デモクラシーの神樣ウィルソン君を比す、互に類似したるは面白し。ビ公の政策は徹頭徹尾懷柔の二字に盡く卽ち埃國を抱込み、土耳其を捕虜とせし腕前を見よ、彼の行策は實に何事も無報酬にては爲さざりし也。米國昨今の對世界政策は奈何。吾人は特に支那、ユーゴ、スラブ及び波蘭、チエツク、其他の國民に對して、宜しく眉に唾せん事を勸告す。

◇佛首相クレマンソー君來る十二月を以て隱退すと。今世界の一轉期に方り、閑雲野鶴の郷に入るは、洵に其終を完うせしものと謂ふべく、新時代には新人の活動を要す。

◇デニキン軍の露都肉迫は、最早事實として取扱うて可なるべく、ゴルツ將軍の活躍、偶ま英佛の對露策亦、詐欺に非ざるの如し。露西亞の大掃除の驅逐も愈々實行期に入らんとするか。

◇彼等は凡ての國を搖り動かして、結局何物をも建設せざりしとは、ゴール人に對する評言が今日のボルシエヴイズムに其儘適用せらる▲のも面白し。過激派は未だ新しき國家を建設もせざれば、人類の建設力にも何等の貢獻する處なし。所謂凡ての國を搖り動かすのみ人騷がせも之れ以上はなかるべし。

東洋道路工業株式會社株式募集

設立の趣旨

道路法新に成り道路改良會先づ東京に生れ大阪又同樣の企てあり更に京濱阪神間等の國道既に政府の豫算に計上せられたる今日道路問題は既に實行期に入れりと謂ふも過言にあらず然るに此大事業の負擔に堪ゆべき實行機關一として備はらざるは朝野の頗る遺憾とするところにして本會社の設立は痛切なる時代の要求なり

企業の特色

資力を豐富にし設備を完全にし經驗に富める技術家を內外に求め普通一般の路面鋪裝工事に從事するを目的とするも就中專賣特許タークレー工事は本會社の特色とするところなりタークレーは我國の發明にして臺灣に於ける數年の經驗更に三菱合資會社地所部を首め東京大阪兩市に於ける昨年來の實驗に見るも其成績優秀にして之を在來品に比し毫も遜色なく且つ耐久力に富み修繕の簡易なるのみならず其價格に至りては在來品の約三分の一にして各方面に多大の賞讚を博しつゝあり

利益の確實

本事業は太北商會の營業を繼承するものにして會社成立前既に東京市、大阪市、朝鮮、北海道及び北京、天津、上海等各方面より多大の注文あり目下盛に工事中に屬す工事は主として會社の專有すべき特許品なるを以て其有利なることは多言を要せず發起人の發表せる收支豫算の如きは最小限度の事業豫想にして會社成立當初より相當の利益を見る可きは疑を入れず若しそれ將來の豫想を語らんか東京市の豫定工事のみにても猶計上豫想の數倍を算すべく將來國道の經營各都市の發展に伴ひ本事業の擴張利益の漸增は豫想以上に在りと信ず

公募の理由

本事業の如きは其性質上少數企業家の專有を許すべきにあらず各方面財界多數の首腦者を發起人に網羅したる事は當業者苦心の存する所を知るに足らん左れば株式引受の如き發起人及贊成人に於て既に不足を感じたるも特に其一部を割き公募に付し廣く一般社會と利害を共にせんとするに在り

募集要項

一、資本金總額 金壹千萬圓(株式總數貳拾萬株)
一、壹株ノ金額 金五拾圓
一、募集株數 壹萬五千株(拾八萬五千株は發起人贊成人に於て引受濟)
一、申込株數 拾株以上(拾株ヲ單位トス)
一、申込期間 大正八年十月拾壹日ヨリ同月拾八日マテ
一、申込證據金 壹株ニ付金貳圓五拾錢
一、募入決定方法 應募超過ノ場合ハ發起人ニ於テ適宜決定ス
一、第一回拂込金 壹株ニ付金拾貳圓五拾錢(證據金併算)
一、定款目論見書、株式申込書、印鑑用紙等ハ左記申込取扱所又ハ創立事務所ヘ御申込次第送呈ス

○發起人總代 渡邊勝三郎 瀧川儀作 辻村楠造 國枝 前川太兵衛 謹

發起人

東京 岩崎清七 同 市原求 大阪 市居嘉三郎 東京 磯部保次 大阪 範多龍太郎 同 服部省三郎 東京 星野錫 同 堀內良平 同 本田親清 同 小原達明 同 岡田榮一 神戸 大谷吟右衛門 兵庫 大谷順作 東京 渡邊勝三郎 同 若尾謹之助 東京伯爵 吉井幸藏

兵庫 多羅尾源三郎 大阪 竹尾治右衛門 神戸 瀧川儀作 東京 辻村楠造 大阪 永田三十郎 同 永田恭介 同 村地久治郎 同 上田源三郎 東京 浦邊襄夫 千葉 宇佐美敬三郎 大阪 野田吉兵衛 同 國枝謹 同 國枝博 同 山口眞康 神戸 山本博一 東京 前川太兵衛

東京 前田乘七 同 小山谷藏 同 阿部吾市 宇都宮男爵 飯島重雄 東京男爵 齋藤重高 同 酒井泰 同 島津久賢 大阪 弘世助太郎 東京 肥田景之 横濱 茂木惣兵衛 靜岡 芹澤多根 大阪 鈴木仁十郎 東京 鈴木寅彥 同 鈴木茂兵衛

贊成人

服部金太郎 村井吉兵衛 男爵 鄉誠之助 小林傳次郎 菅原通敬 外名略

株式申込及拂込取扱所

東京 東海銀行 同 村井銀行 同 豐國銀行 同 古河銀行 同 丁酉銀行 同 報德銀行 同 あかぢ貯蓄銀行 同 住友銀行東京支店 同 近江銀行東京支店 同 三十四銀行東京支店 同 山口銀行東京支店 同 浪速銀行東京支店 同 [illegible]ビルブローカー銀行東京支店 同 [illegible]ビルブローカー銀行東京支店 同 若尾銀行東京支店 大阪 住友銀行 同 三十四銀行 同 近江銀行

大阪 山口銀行 同 浪速銀行 同 百三十銀行 同 藤田銀行 同 野村銀行 同 藤本ビルブローカー銀行 同 增田ビルブローカー銀行 京都 村井銀行支店 同 古河銀行支店 同 山口銀行支店 同 村井銀行支店 神戸 三十四銀行支店 同 三十四銀行支店 同 山口銀行支店 橫濱 住友銀行支店 名古屋 近江銀行支店 [illegible]

[illegible]

東京市麴町區內幸町一丁目六番地 東洋道路工業株式會社創立事務所 電話新橋三一〇二番 振替貯金口座東京四九三二〇番

お祭氣分漂ふ

全市美々しく裝飾さる 神幸行列の豫習 李王殿下古樂を御寄進

京城市民が待ちに待つた京城神社大祭も愈々十六日夜から幕を開く事となり全市は隅から隅まで注連縄を張り軒提灯を懸け連ね人氣は沸騰し祭禮氣分は奈何なく漲り漂つて居る。午後一時には裝飾なれる御輿の試運轉を濟ませ神社々務所では二千餘人の人々が眼を廻すやうな忙しさで未だ仕殘りの準備に忙殺され谷村宮司以下の神官連や大總代は各所に奔走して萬般の用意を進め萬遺漏なきを期して居る。鮮人側も心あるものは大分祭禮の意義を解釋し祭禮氣分に唆られて居る樣子が見え醵金者中に加はるものも少くないとは喜ばしい現象である▲李王職でも武藤祭祀課長が熱心に何かと奔走し當日王殿下李堈公李鍝公家から御供進があるは例年の通りとし殊に今回は古代朝鮮雅樂の寄進があるさうで古雅灼爛な甲裝せる樂手によつて神幸行列を先導する豫習も濟み宮中に於ける雅樂其儘の一行が加はる事とて鮮人側は勿論一般に期待されて居る

祭式次第

前夜祭　十六日午後七時より
大祭式典御發輦祭　十七日午前八時
龍山御旅所祭　十七日午後六時
御旅所御發幸祭　十八日午前八時
還御祭　十八日午後五時

奉納相撲と大煙火 宵宮から賑ふ

前夜祭即ち宵宮祭の今十六日夜八時から始まる事は既報の通りで境内公園に於て旭多仁輪加の公開される事も既に記したが其外に神社御神前の廣場には大相撲の土俵が築かれ九州相撲 放駒佐野川二十餘名の一行が十六、十八の兩夜に亘り面白い取組を見せ其他素人相撲數十番三人拔五人拔七人拔等があり飛入勝手觀覽無料と云ふのだから今から人氣が素晴らしく活り相撲係など**喧嘩腰で**狂奔して居る又境内では此外陣之内鹿雄氏を顧問とする武德會員の奉納仕合もある筈十八日夜八時三十分から南山々腹で打上げる大煙火は燦爛獨特の製造で『滿開の菊』『群蜂亂遊』等の大物は空中に**五分間位**は其儘靜止して居るさうで咲亂る菊花や群蜂の亂れ遊ぶ光景は眞に天下の奇觀壯觀であらう尙前夜祭の式後神前に供へられる一萬五千の神符神饌等は府氏子中の家内安全營業繁盛の禱りを捧げた後氏子總代の手を經て各町の醵金者へ無料で配附される筈で既に全部の用意が整つて居る

勇太鼓や樽神輿 其の後決定

其の後聞及んだ市内の催しでは本町四丁目が勇み太鼓を二十人曳きの大屋臺に飾附け町内の若衆連が勢ひよく競い音頭で曳き出す相で威勢の好い點で他町を壓倒して見せると氣込んで居る　旭町二丁目三丁目聯合會では擬十名はパイン萬年筆の植松さんが先達で一同揃ひの被衣黑地の襟には町名を染拔き藍地の背中には丸に旭町若、腰部には獅子頭を散らした俠な姿で當日御神輿の先拂をする由で四名の取締連が奔走して町内の飾付も見事に終り軒並には一齊に地口行燈を懸連ねる筈

お祭を擧つて祝へ

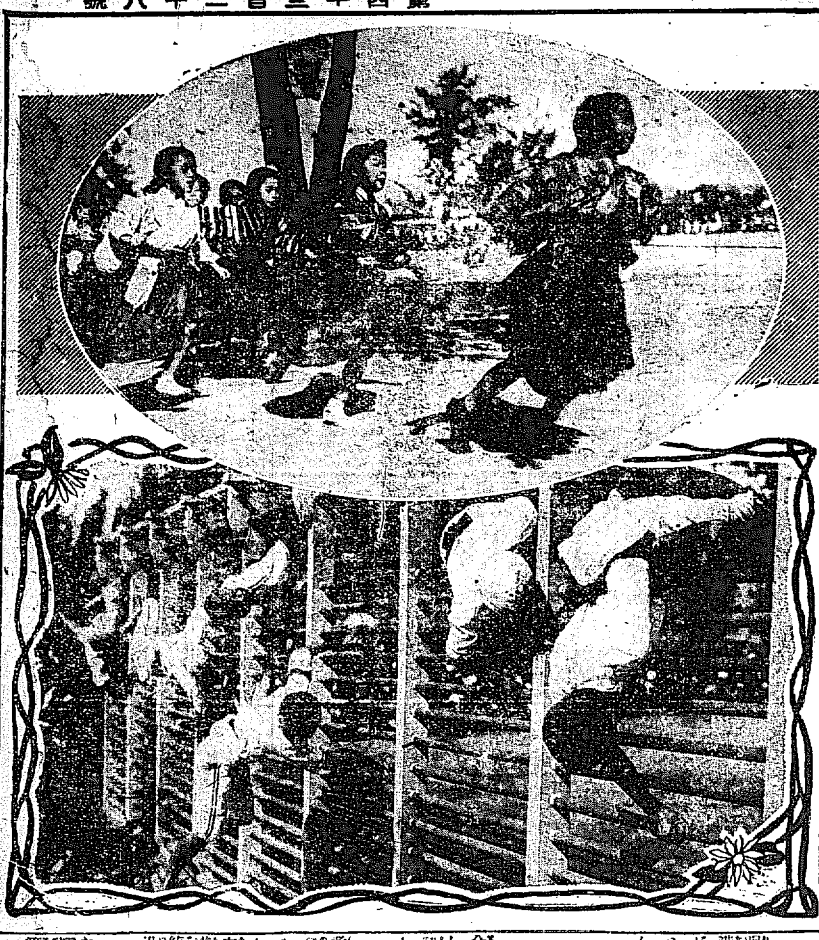
大々的お祭騷ぎ結構 併し風俗を紊してはならぬ 取締の方針は即ち是

龍山警察署長　今野啓祝談

愈々京城龍山の本祭りも明日に迫つた、氏神を祭ると云ふ事は祖先の御徳をも偲ぶ**古來の美風**で氏神祭は出來る丈け盛んに行り度い物である、殊に植民地の如な處は各地の人が移住してゐるのであるから内地に於ける一町一村の如く親しみの程度が濃厚でない、此の機會に於て親密の濃厚たらしむるのは誠に結構な事で且つ是に依つて**土地の繁榮**を增進させる事ともなる、此の點に於てお祭りの大々的お祭り騷は至つて歡迎する處であるが、待てよと餘り浮かれ過ぎて風俗を壞亂せしめる行爲に出ないとも限らない、人を笑はせんが爲に**如何はしい**造り物を拵へたり或は男が女に扮し又は女が男を裝ひ風俗を紊すやうな事があるのは是に對しては絶對に取締り度いと思つてゐる、又第三部長の方針も某所にある、お祭りには大々的に騷ぐのも好いが餘り**調子づいて**風俗を紊すやうな行爲があれば遠慮會釋なく嚴重に取締る筈である又造り物や行爲に於て外國人を侮辱するやうな事があれば是も嚴重に取締る決心である**以上の事に**抵觸しない限りは擧つてお祭りを祝つて貰ひ度い目出度い氏神のお祭り日に風俗壞亂の廉を以て檢擧されたなど云ふ不祥事のないやうに注意して貰ひ度い云々

掉尾の學校運動會

最う秋風がヒヤ〳〵と身に沁みて冬じみた北漢山嵐が吹く十六日府内小學校掉尾の運動會として櫻井小學校が其校庭で秋季運動會を擧行した午前九時から豫定のプログラム通り體操遊戲競爭が順序よく繰返されワッ〳〵と云ふ叫びを紅白それ〴〵に聲援する少年少女の可憐な聲つた方が善いと空に傳する其周圍を見護の父兄が取卷いて手に汗を握つてゐたが午後は益々父兄觀覽者が殖えてさしもに廣い運動場も立錐の餘地がない程であつた女兒一同の體操帽子は如何にも凜々しく運動として非常に好いやうだ、此運動會や父兄等の理事連が頻りに斡旋して居たのと會場が來賓よりも父兄に觀覽させるやうに出來てゐた點が特に目に著いた（寫眞は女生徒のレースと助木潜り）



寺内伯

重態に陷る

寺内伯容態は十五日夕刻より益々重態に陷り體溫三十六度內外脈搏百二十以上呼吸二十内外息搏甚だしく苦悶甚しくにして酸素吸入を行ひ今や頗る重態に陷れり東京よりは令息壽一大佐兒玉伯夫妻夫人令弟等枕頭に付き切り徹宵看護に盡す（大磯電報）

明石總督容態險惡 門司著と共に

明石臺灣總督は十六日朝八時入港の信濃丸にて門司に到著せるが八時半頃に至り俄に容態險惡となり直ちに注射其他手當をなし船内にて靜臥中（門司特電）

全州危し

虎疫益猖獗 鮮人注射を厭ふ

全州地方の虎疫狀況視察中なりし某警官は十六日歸城したるが語りて曰く全州の虎疫は九月二十五日**初發以來**十二日迄の患者は六十九名にして中内地人一名あり目下避病院に收容されある者十七名にして既に死亡者四十七名を出せり九月二十一日扶安より輸入したる魚を市場にて求めたる者より發生したれば系統は扶安にあり發生地は全州沿岸にして病毒の最も**濃厚なる**は本町一丁目なり邑としての防疫は臨時防疫班を特設し且つ自衛團を設け非常の節にては檢病的戸口調査を行ひつゝあり令病的戸口調査は現在の人員にて一巡するに三日を要すと云へり防疫の計畫としては**豫防接種**の勵行にあるも人口一萬五千人（中内地人二千六百）豫防接種を受けたるもの五千人に過ぎず目下半强制的に行ひつゝあるも鮮人は兎角之を厭ひて逃れんとするを以て益々病毒は蔓延し到底目下の狀況は**當分終熄**を見る能はず警察側の計畫に依れば豫防接種の普及を計る爲め部員を三班に分かち二十一日を以て全部終了せしむべしと同地の避病院は永久的設備整ひ居れど是のみにては十分ならざるを以て目下二十餘人を收容し得べきバラック式避病舍の建築を急ぎつゝあり**交通遮斷**は患者發生附近及び病毒濃厚の地域に對し嚴重に施行し全州川の水泳魚撈水の使用を禁じ野菜も泥附きの儘の販賣を禁止し居れり又交通遮斷區域内の糞便檢査を實施すべく計畫中なるも未だ其の運びに至らざるもの、如く虎疫は今や學校は休業し興行物一切を禁じ益々猖獗を極め全州邑は恐く危險に瀕しつゝあり

十八機對峙して

大演習の航空隊編成 一軍に四個中隊所屬

阪神地方に於て近く擧行されんとする陸軍特別大演習に際し兩軍に配屬さるべき航空隊の編成に就き聞く所によれば飛行機は總數卅六臺、兩軍に各十八機を配屬せしめ之を**平時編成**の四個中隊に分ち一個中隊に四機宛準備機を兩軍に二機宛準備せしむる計畫にて一軍に四個中隊が常備せしむ、斯くの如く多數の飛行機を使用するは今回を以て嚆矢となす、尙今回の大演習には陸軍が歐洲佛國航空團の教習によつて得たる經驗を應用しニューポール、スパット其他の**高速戰鬪**機も參加せしむる計畫なりしも兩軍飛行隊の根據地及び中間著陸地共に狹隘なるが爲め高速機の使用全く不可能なるより從來の演習計畫に少しく改良を加へ偵察用として英國製ソッピース式百五十馬力の半… **投彈用**として… 附の赤羽少佐が南軍飛行隊長となり航空部本部附の井上少將は統監部にありて飛行隊全部を統轄する筈なり

阿片や酒精の中毒

日増しに殖え行く 看過す可らざる國家問題

第二十師團　早川軍醫部長談

麻藥類中毒に就ては既に語つたが、一般の毒物及び有害なる飲食物攝取によつて急性中毒に罹る者の數も少くない、少くないばかりか年々の平均が二千名を超えて居る之を人口に對し比例を取つて見ると人口一萬人に付三百七十五名の患者を出して居る割合に當る、其中で遂に**生命を失**ふ者の數は毎年平均六百名内外だから急性中毒患者百人に對し三十名弱の死者を出してゐる譯で寒心の至りに堪へぬ、そして地方別に調査して見ると急性中毒患者の發生數の最も多いのは岐阜、鹿兒島、山梨等で最も少いのは佐賀、大分、高知等の諸縣である、しかし之等の害毒は眞の**部分的**のものであつて細心の注意と焦慮とを怠らない以上恐る可き大なる惡果を胎す者ではないが、人々の身體に有害な物質を攝取し不知々々自己に自ら危害を加へつゝある者の數が日増しに增ゑて行くのは最も恐るべき戒心す可き現象であ、中でも阿片の吸飲やコカインの**皮下注射**やアルコール飲料の飲用等に因つて慢性中毒症に陷り將來大いに悲しむ可き害毒を身に受け延いて其の子孫に對し重大な害を與へる事も稀れではない、其等の點から言つて眞に憂慮に價する國家問題である夫れ故に阿片やコカインの取締は各國共に**頗る嚴重**であるが世界共通に其の害毒に惱まれつゝある酒精飲料の使用禁止は頗る緩やかなもので僅に露西亞や米國等の二三の國が法律を制定して勵行して居るに過ぎぬ、然し夫さへも表面丈で裏面へ入ると腐敗の實行せられ居らない樣子なのは實に嘆かはしき至りである**支那など**では酒量の少いのを男氣地がないやうに言ふて居るが酒が飲まれぬとて交際格に缺けて居る譯でもないから出來ぬ譯でもない又英傑の成る可く慢性的中毒に罹らぬ注意が肝要である

後家さん强盗を凹ます 金品よりも外に目的が

十五日午前二時四十分頃府内若草町卅四番地寡婦小田その（四三）方に年齡三十六七才位の頰冠りした男が跣足の儘ピストルを擬して侵入し寡婦を乘り越ゐてその寢室に忍び入りしも目を覺まし居たるそのを見て聲も出さず威しながら『聲を立てると殺すぞ』とピストルを突付け脅迫したるがそのは態度に於て床の上に起き直り拳賊の右手を握り『お止しなさい』と高飛車に出たれば件の賊は其態度に驚き拔かれ狐鼠〳〵と室外に逃走したるが賊はその寡婦なるを知り居るものゝ如く他に何等かの目的を有し居たるものゝ如く件のピストルも亦玩具用にあらざるかと犯人は目下嚴探中

車中で吐瀉 群山行の乘客二名

十五日午後五時裡里驛發群山行列車内に於て吐瀉者二名發生したるが同乘旅客三名共群山驛にて下車せしめ隔離其他の檢疫手當を爲せり（群山特電）

豆畑で敵討 叔父を殺された男

平安北道龍川郡外上面豆畑洞李□杰（七）は去七日同郡外下面德義洞張炳仲（五七）が市場よりの歸途を要し石塊叉は棍棒を以て頭部其他を亂打し死に致らしめたるが殺害の原因は被害者張綱仲が七年前に犯人の叔父張寶鼎を殺害せしことある遺恨として報讐を企てしものなりと云ふ

子爵情婦を銃殺

京都の公卿華族桑原孝長 被害者は饂飩屋の女房

京都市上京區中筋通中立賣下る菊屋町六番地子爵桑原孝長氏（三八）は兼て情婦なる饂飩屋捨三妻まつ（三七）を十五日午前二時岡崎公園にて銃殺せり（東京特電）

由緒ある血統 當主には二人の庶子が有る

原家は天忍穗耳尊の後胤從五位下菅原古人の裔正二位權大納言五條爲庸卿の四男長義の後なり長義分家して桑原と稱す夫より七代を經て正四位子爵輔長に至る孝長は其の次男にして明治十七年五月四日を以て生れ先代爲昭の後を承け同三十二年襲爵仰付らる家族は庶子彦男爲安（十）長女富榮子（六）とあり

船火事

船員は命から〳〵避難

十月…陽帆船加福丸は十日午前零時十五分仁川港内小月尾島沖合に於て火を發し船員は辛うじて傳馬船に移乘避難したるが仁川稅關監吏同所水夫等現場に急行し消防に盡力したる結果船體だけは燒失を脫れたるも損害二千餘圓に及べり

感電して落つ

十六日午前八時三十分頃橋北洞廣成商會前の電柱上に架設したる電池により漏電し居れるより同商會資職工徐東洙（二二）が電柱に登り消さんとしたるが感電して墜落したれば徐は直に最寄の病院に舁ぎ込み手當中なりと

彌雲洞の小火

十六日午前三時頃府内彌雲洞二百六十八番地猪原應方の温突より發火したれば直に同所派出所より巡査二名馳せ付け附近の者を指揮して消防したれば大事に至らず二十分頃鎭火したが原因は温突の不始末にして損害は僅少の見込

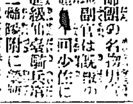
◎宮地少佐送別會　第十九師團當時より引續き第二十師團に在勤の宮地副官は今回少佐に進級と騎兵第二聯隊に榮轉する事となりたるを以て時永浦三（總督府）飯泉幹太（鮮銀）馬詰次男、東條精、寺田鋼吉（土佐紙支配人）奥田直（京日）の諸氏發企となり高知縣人會と合同盛大なる送別會を來る二十日午後六時より千代本に於て開催する由同縣人は同日迄に發企人に申込まれ度しと會費七圓なり

●御大家族慰安會　…諸用度係にては使人…十五日二十餘名の…來て興行中の有田洋行一座を借切り午後六時より開演慰勞會を催したり

西伯利紀行

一高旅行班　尾間忠雄

東五日。今日はもう七月二十一日だ空が晴れて氣持がよい。今日は昨日お世話になつた荒木中佐の御案内で浦鹽背面の砲臺を見物する計畫であるがこれも臨息なので三十名許りの有志が之に赴いたが自分は昨日餘り歩いたのですつかり足に豆を出してしまつたので遠く歩るくとは絶對に出來ない。それで浦鹽市内を見物することにした。朝食後先發として來て浦鹽には一日の長ある吉岡君に連れられて**ロシア風呂**に行つた。入浴料一人前八留（日貨二十錢）二人で十二留であつた。二人分となると割がよくなるのだ。三人なら更に安い湯屋と云つても二階建の大きな煉瓦作りの家である。此建物の中に澤山の浴室があるのである。浴室は二室に分れてゐる。廊下から戸を開て入ると（勿論内から鍵をかけることが出來てゐる）其室は休む所で安樂椅子が一つ椅子が二つと**化粧棚**があつてそこに大きな鏡が掛つてゐる。次の室が浴場で西洋式の大理石の浴槽が一つ同じく大理石の巾三尺長さ一間位の臺がありもう一つ板の臺がある。湯と水との管が來て居て一方の栓をねぢれば湯が出て一方からは水が出る。我々は勝手に湯水を使用してよいのだ設備たるや至れり盡せりだ。氣持がよい。流石有名なロシア風呂丈けあると思つて大いに感心した此湯は**淫蕩な**ロシア人が好きな遊び女を連れ込んで樂しむ所だそうか。我々はシャツだの靴下だのと汚れたものを持つて行つて洗濯した。が此んな事は大眼に見てゐるので別に何とも云はない。むしろ公然許してあるのか知れぬ皆シャツ位は此處で洗濯するらしい。時間は一時間の規定である。何れにしても此程勝手に湯水が使へ洗濯も出來て一人八留とは安すぎる。**一人で**行かふものなら此こそ大變だとか。すぐ女を呼びませうと番頭が云ふのださうな。誰れか一行中に一人で行つて困つた人もある。一寸日本には考へも及ばないが古代ローマの浴場が尤も風俗壞亂の巢であつた歷史上の事實を考へれば我々にも成程と合點が行かぬでもない。湯に入つていゝ氣持になつて一旦宿舍に歸つて市中見物に出た。吉岡君が案内役である。



師團の名物…地副官は既報の如く同少佐に進級仙臺騎兵第二聯隊附に榮轉する事となつた▲京城乘馬俱樂部は直接間接に同氏の援助を得たのであるので今更名殘り惜しがり甚だしく會員一同送別の宴を開いて其の行を壯んならしめようとの計畫もある▲會員の一人は…を惜んで『行く秋や名物一つ…く去る』▲湖南線にも列車中に驛呼を置いて…やうにしてあるのは現下の防疫上適當の處置であるが…ほんの飾り物で乘務員も…ようとも仕なければ乘客も進んで之を利用しやうともしない▲殊に湖南線の列車内では商人が各室を往復して飲食物を賣つてゐるから蠅は益々蝟集する許りなさは同地より歸來した人の話▲虎列拉流行地だけに氣にかゝる

呉服の富り年

…る、長商課長は語る「現在絹ることいよ〳〵高價値である一方生糸今年位佛山に責れるのも初めてで居るが別けて三越は此際百五千圓といふ日本一の高價…め一見白無の如くなるが本年…

…逮捕され取調べの末十四日檢事局に送られたり

十三日夜民團役所樓上にて第一回賃行委員會を開く筈なりしも…

虎疫終熄（吉林）

天氣　晴一時曇

本場 大島紬珍柄着荷
弊店ハ月賦販賣モ致居申候電話又ハ葉書ニテ御下命被下候ヘバ持參可仕候
京城本町一丁目五十番地
織元出張 勝久京城支店 電話一九〇二番

MALTHOID マルソイド
便利瓦中最優良品たる實證を有し堅牢無比、會社工場の屋根に最も適す
東京麴町有樂町一ノ三 内外興業株式會社建築材料部
（支社）大阪、神戸、門司、京城、大連
京城 黄金町二丁目建築材料部 長谷川町一番地自動車部

毎月二十日定期休業
右總會ノ決議ニヨリ相定メ候
朝鮮寫眞師同志會

奥野式 廻轉稻扱機
特色 輕便（遠心力應用）
發賣元 釜山本町 朝鮮勸農商會

看板はフシノ工舍
サツポロビール專屬 工所京城本町二丁目 電話七二二番

値段改正に付謹告
主要原料益々暴騰の爲不得止今般左の通り値段改正致候何卒事情御諒察の上倍舊御愛顧希上候

品名	容器	單位	改正
美乳	大瓶	壹個	貳錢上ゲ
同	小瓶	同	貳錢上ゲ
純白美乳		同	貳錢上ゲ
美乳クリーム	小器	同	貳錢上ゲ
美乳白粉		同	貳錢上ゲ
大學練白粉	大瓶	同	參錢上ゲ
同	小瓶	同	貳錢上ゲ
同	特製	同	參錢上ゲ
大學固煉		同	五錢上ゲ
大學粉白粉	紙包	同	貳錢上ゲ
大學水白粉		同	貳錢上ゲ

美乳 大學白粉 本舖 矢野芳香園

營業品項目
一、アスベスト板其他
一、アスベスト絲石綿加工品各種
群山港錦町十二番地
朝鮮石綿礦業所
礦山所在 忠淸北道洪城郡廣川面 同 靑陽郡飛鳳面 京畿道楊州郡

第五版

大連近事

改正運賃昂騰

滿鐵會社鐵道運賃改正愈發表されたるが同改正賃率は彼の大連特產關係業者の反對殊に甚だしかりし第一次改正賃率に比し更に二割以上の昂騰を示し二數特產關係業の要望に反するかの感あるも過次滿鐵會社解明の如く社會狀態は第一次の運賃改正當時に比し急變し來り從前の儘に放置しあるを許されず社員の給與に又は勞働者待遇に或は諸機關の整備に時運に相副ふの施設を爲さざるべからず之れが經費捻出の一として鐵道運賃の如く上叉已むべからざるものあるが如し而し例の問題たりし大連港口の運賃比率に對しては滿鐵當局苦心の迹見るを得

牧羊會社成る

豫て計畫中なりし牧羊を專らとする合資會社南滿牧業は組織成り牧場は市外星ケ浦に設け過般來事業を開始し既に二回に亙り二百十八頭の羊を稙濱に輸出せし由にて同場飼養の羊種は蒙古種支那種にして來年より少くとも一萬頭を飼養し羊毛加工品をも製造する計畫ある由

工業會社創立

大連工業會社創立に就き十日午後二時大連商業會議所に協議會を開き當日は發起人だけに諒解を得且組織に對する協議を爲し會則を決定し會長には森滿鐵沙河口工場長を推し幹事は三箇月交替として當り油脂會社の殿仁連工業の桝田兩氏之れに當る事となりたり

豆粕生產旺盛

例年與油業は夏季四箇月間は至極閑散にして隨つて豆粕製出も著しく減少するを例とせり殊に本年は虎疫流行の爲め從來苦力の減少せる等種々差支ありて本來なれば多大の產出減を見るべきに事實は之れに反し內地豆粕の好況が見越し意外に多量の出を爲し埠頭にても一時堆貨處分の爲め一日の入庫數量四萬枚に制限を加へたる程にて本夏は例年に見ざる多額の豆油豆粕の生產なりしが昨今新豆の出廻りを見興油業の活動季に入りし事とて目下一日の豆粕生產高約七八萬枚を算すと

全北の新銀行

百萬圓に增資の計畫

資本金五十萬圓の全北銀行株は發起人に於て約九分通は引受け殘株二千七百株公募中なりしが現在應募者七千二百五十株に達し尙續々申込みあるが如き盛況を呈し居れば更に發起人會を開き現在の資本金五十萬圓を更に一百萬圓に增資し全北銀行の名稱を朝鮮產業銀行と改め總督府の認可を受くる筈なりと（全州）

官幣大社の滿洲神社を 旅順か大連か

京城に朝鮮神社ある如く滿洲にも官幣大社を建營すべしとの議は夙に關東都督府時代より唱へられ旅順大連兩市及び南滿一圓在留邦人又熱心に其建營を祈り居たるが關東廳にては九年度豫算に該神社建立費四十萬圓を編入計上し三年間繼續事業として旅順に相し建築さる〻事となりたる由右に就て中野民政署長は語る『滿洲に滿洲神社なかる可からざるは臺灣に臺灣神社樺太に樺太神社あり近く朝鮮に朝鮮神社の建立を見又青島にも青島神社の建立さる〻あるに見て明白なり何れも官幣大社にて御祭神は天照皇大神宮と明治天皇の二御靈なり建立地は猶ほ決定されたるにあらず旅順に地を相するとか云ふ事も不明にて何れに建立さる〻か明言されず然し三年繼續事業として滿洲神社の建立さる〻ことは既定の事實なり（大連）

セ軍入蒙說 支那の武力對抗

軍隊は政府の命を奉ぜず

セミヨノフ軍の蒙古侵入說は頗る傳聞する處なるが最近庫倫都護使陳毅氏より北京政府に達したる急電に據ればセミヨノフ將軍の軍隊は又しても蒙古一帶に侵入し其の勢ひ猖獗を極め已に恰克圖に到達し庫倫攻擊を企て居るを以て庫倫駐在の露國領事はオムスク政府に電報を以てセ軍隊の進出阻止を勸告したるも該軍隊はオムスク政府の命令を奉ぜず益々蒙境を侵犯せんとする模樣なれば勢ひ支那も武力を以て抵抗せざる可からず陳都護使は三旅八團の兵を動かさんことを北京政府に請ひたるが同方面の防備は今後益々重要なりと（哈爾賓）

內鮮間の旅客 虎疫檢疫の影響

九月中に於ける旅客運輸狀況を鐵道院釜山派出所の調査に見るに九月中は前年同期に比し乘客に於て一割九分强收入に於て九分强の減少を示し只降客に於ての增加を見たり今之を案ずるに前年同期は恰も鮮線內軍隊大輸送にて一般旅客運輸の圓滑を缺ぎ爲めに旅客の來往するもの頗る不振の狀態なりき然るに本期は之に比し減少を示せるは檢疫の爲め彼の下關に於ける長時間の抑留を厭ひ自然旅行を一時見合するもの多きを加へ來り、內地より渡鮮し來る者の檢疫は僅々其一部のみにて他は內地に抑留なすに止るこ近時鮮內政の改革に伴ふ警察制度の擴張は多數の警察官を內地より出向せしめたる爲め降客に於ても優勢なる高率增加を示せるもの〻如く認めらる因に小手荷物の發著を依る數字を以て示せば左表の如し

	本年	前年	增減
乘客	[illegible]	[illegible]	[illegible]
降客	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小荷物	[illegible]	[illegible]	[illegible]

木材業の外れ歲 洪水と旱魃とにて

材木業者にとりては一大凶年たりし本年は春解氷早々の大洪水に諸材流失の損害に次ぐに未曾有の大旱魃にて夏中の蒸筏皆無の狀態最も成績の好き分にて契高の三割位の出廻りに過ぎず從つて資金の回轉思はしからず既に把頭入山の時期到來せるも一向活氣なきもの〻如し但し大社方面の產地へ放資は益々增加しつ〻あり（吉林）

鮮魚の解禁

爲に二割高となる

虎疫猖獗を極むる爲め永らく鮮魚の內地輸移出を禁止され居たりしが漸次各地のコレラも終熄の期に近づきたるこて當業者の打擊少からざるより去る十三日を以て鮮魚輸移出解禁せられたり爲に魚市場人氣頓に昂まり非常の景氣を呈し市場は前日より二割方の高値を示せり（釜山）

鷄卵が十錢で六七個

馬山の奧地にて

日本人が古奧地を旅行して現地で食物として得らる〻ものは鷄卵、鷄、豚、葱等のもので鷄は皮を先方に與へて肉だけを買ふ位である、鷄卵は二三頭分位は多いが食ひ盡くせぬ不便がある鷄卵は十錢に六七個但し鷄の無い所もある處にもよつて買はうとすれば一向だ云つて賣れない強いて買はうとすれば一個だに云ふ外な事を云ふ鷄の牧者に功みなる苦人も鷄は存外好物だと見ゆる（哈爾賓）

大殘虐

支那人に加ふる 過激派軍橫暴

最近イルクック方面より歸來せる某支那人の談に據れば目下イルクック以西にて商業に從事せる支人は約二萬餘名なるが過激派より甚だしき虐待に遇ひ强制的に兵士或は人夫に徵發されて若し逃走を企つる者あれば直ちに銃殺され戰鬪に當りては彼等を前線に立たしむ支那側兵が前線に立つ爲め死傷者甚だ多く且オムスク政府亦彼等に過する事過激派に比し一層慘酷を極め東方より逃れ來る貨物は一切過激派に供給する者なりとして之を沒收し苛且は之を監獄に投じ又は國外へ追放せんとする者は悉く過激派の策備なりとて死刑に處したる者數ふるに遑なき程なるより遂にアムール省警備隊は此機に乘じ交涉を提起し目下が涉中なるが將來有利なる解決を得るや否やは頗る疑問にて右の如き狀態なる爲め在露支人の歸國を圖る者續出し居れりと云ふ（哈爾賓）

隊馬の拂下

賣上げて三百六十五圓

十四日午前十一時より平壤憲兵隊構內に於て軍馬二十二頭の拂ひ下げがあつた拂ひ下げ馬は二十二頭であつたが門來憲兵隊構內には愛馬家二百餘名來集し遠きは鎭南浦安州、定州附近よりも來集し選りに選つて買値を呼び互に競り上げて二百圓、三百圓位で買落した何分昨今平壤に於ける商工業の景氣が好いので馬の需要多く爲めに前年に比しては甚だしき高價にて拂下げられた一番高く賣つたのは三百六十五圓と云ふ法外な値段で放賣せられて何しろ來年よりは憲兵隊の拂ひ下げ馬も少くなるべくなれば拂下げ馬の二百、三百も敢て高いと云ふ程でもなからう（平壤）

懸賞にて防疫 虎列拉患者申告者へ 金十圓（釜山にて）

山縣近道一帶へ內鮮蔓延の兆ある虎列拉防止に關しては當局に於て全力を傾注し之が撲滅を謀りつ〻ある事は既報の如くなるが同更に高金の策として之れが隱蔽其他の弊を防がん爲め釜山府に於ては當該官署及府吏員囑託防疫委員等の意見以前に於て眞性患者の申告を爲したる家族及知識の者に對し之が防疫獎勵金なる名目の下に一件金十圓を與ふる事とせり（釜山）

平南の虎疫は愈終熄に近づく

平南鮮地方虎疫猖獗の折柄平安道に於ける虎疫近況を聞くに漸次終熄を告げ去る十四日現在に於ける發生患者は全道僅に七名に過ぎず此分ならば終熄も近からんと（平壤）

乞丐四十名 內廿一名保菌者

既報去る九日平壤府新倉里路上に一鮮人の乞食が疑似虎疫に罹り死亡し居れるを發見して直ちに附近の大消毒を施行し防疫にかめたるが平壤警察署に於ては府內乞食にも豫防注射の必要ありと認めたるより今回乞丐者四十名に對し豫防接種を施し尙檢便したるに四十名の中二十二名の虎菌保帶者を發見したるが是等は外見何等の異狀なく極めて

釀造の雜話

値上の流行と釀造家の儲け

仁川の釀造業者曰く

酒と醬油は高くなつた、それは何故高騰に値が上つたか、一般の物價昂騰が原因して世の中の人が何でも總てを値上げをしなければ其值を疑はる、妙な習慣から需要家の方から値上げを餘儀なくしたのは値上げの機微であつた、釀造家はそんな理由で瞬く間に殆んど倍額の値に改正して居るからは

其儲け加減 夥しい

ものであるさは事實らしいけれ共世の左黨諸君は酒類が無闇な値上げをして暴利を貪つて居るなんかと怒つては宜しくない、其の大平の責は所謂飮む人の好みにあるからである、釀造家は今や物價騰貴値上げの大勢に乘じて成る程儲い儲けをして居るがそりゃ儲けは少々の儲けはさせて貰はねば

遣り切れぬ

さて仁川の或る釀造家は曰く第一釀造家には大なる危險が伴なつて居る一年間の順調な釀造を續けて相應の身代を作つても一旦釀造に失敗があればトテも他から想像の出來ない程の打擊を受くる、富田儲け得らる、時はシコタマ儲けて置くのは一朝の危險に對する覺悟の算段であらねばならぬ、況んや流動資本を

酌み込む事

釀造家の資本を出きはなく一年の釀造資本を壯年に回收なぞは容易な事でない道んな苦しい處を見て差當りの儲け具合は大目に我慢して貰はなければならぬと僞らざる述懷談なり（仁川）

東西南北

▼金剛山ホテル旅客▼▲金剛山の本年夏より秋にかけ長安寺溫井里兩ホテル宿泊者は二千八十四人昨年より減ぜしは地方不穩の爲めなりし由▼▲新に大池株式會社▼▲大池忠助氏の大池商店を今回金二百萬圓の株式組織に改め貿易倉庫精米酒造石炭の經營をなすべく著々準備中なりと▼▲元山の鰯一合廿錢▼▲元山にても虎疫豫防の爲め鰯の買上げを行へるが一合三十錢と云へる木浦の値より十錢安の一合廿錢、買上ぐべしと▼▲乞食に授產▼▲慶南晉州に於ては浮浪の乞食に授產を計畫し當り叺こ繩の製造を傳習しこして乞食に授產を計畫し其の成績頗る良好なりしこい

商況

株式

大阪株式（至急電報）

銘柄	十六日前場寄付	十五日後引比較
大株	四〇九、〇〇	五、五〇安
同新	四〇一、七〇	一、七〇高
郵船	二六〇、一〇	二、三〇安
同新	一一七、〇〇	一、八〇安
商船	一七五、九〇	、六〇安
同新	一四九、五〇	、九〇高
鐘紡	三八〇、一〇	一、三〇安
同新	三九〇、二〇	四、七〇安
東紡	一七五、九〇	、七〇安
東糖	一八一、九〇	……
棠米	一八一、九〇	、八〇高
上取	八一、九〇	……

京城現株 標準值段

名稱	拂込額	時價
仁取	二五、〇〇	▲一五七、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	一五、〇〇	一八、五〇
皮革	五〇、〇〇	二六、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	三〇、五〇
朝紙	一二、五〇	三五、七五
商銀	五〇、〇〇	五六、五〇
同新	一二、五〇	一八、〇〇
滿毛	一二、五〇	▲五六、〇〇
滿糖	一七、五〇	四七、〇〇
朝煙	五〇、〇〇	三二、〇〇
鮮土	一二、五〇	三二、〇〇
東亞	一二、五〇	▲五〇、七〇
築貴	一二、五〇	三四、〇〇
仁倉	一二、五〇	三五、五〇
製粉	一二、五〇	一九、〇〇
朝日	一二、五〇	一四、〇〇
朝絹	二五、〇〇	二二、〇〇

出來高平均値

	平均値	出來高
東亞新	四九、五〇	一五〇
殖產銀行	一〇二、〇〇	二〇〇
朝鮮製紙	三六、〇〇	五〇
上海取引	七七、〇〇	五〇
朝鮮紡織	三〇、五〇	五〇
仁川取引	一五八、〇〇	五〇
大株新	三九〇、〇〇	五〇
東拓新	九〇、〇〇	一〇〇
東拓權利	二七、〇〇	一〇〇
滿蒙毛織	五七、〇〇	一〇〇
正金銀行	一四三、六〇	一〇〇
朝鮮煙草	三二、〇〇	一五〇
滿鐵二新	一三五、〇〇	五〇

東株漸進步調

高値より七八十圓方の押目を作り其後漸次引返し來りたる東株には前途高の見越し尙ほ衰へず出場の盛返しこ共に追々手控へ勝ちなりし買物も現れて氣丈の推移を呈しつ〻あり新株の拂込も決定し買方が最も恐れを抱きつ〻ある政府の物價調節の事も現政府は眞劍の調節を行ふの腰なきもの〻如く原首相、高橋藏相の意見に徵するも之れを窺め得べし然れば投機熱は依然隆盛を來すべく東株も亦安からざるべく或は機に乘じて大なる氣を吐く事もあるならん

仁取又復上伸

仁取株は最近地場有力筋の買煽りに地方の買氣再燃し連日小高き成行きを示し居れるが今朝は百五十八圓五十錢こ云ふ近頃の高値商內を見るに至れるが大阪某店へは百五十六圓位の注文入り込み値は一般に買煽み傾向となり現在際に於いて益々買氣刺戟し居れり伸力を期待されるは內地の投機株を除かば仁取を措いて他に之を見出し能はざる現況に在りしは資力の乏しからざる者の同株に買向ふは蓋し當然ならんと云ふ

東亞新小縮り

東亞煙草新株は一般に前途高かるべく期し居れるも何分にも二百萬圓より一躍一千萬圓に增資したる事こて舊株に對する割當株多數に上り右割當株の一部を手控して之が拂込に充當せんこする向ありて自然浮動株の激增こなり爲めに期待を裏切り一時の如き不勢を呈したるが昨今は漸く投げ物も略ほ一巡し居る風あり昨日四十五圓五十錢にて百五十枚の手合せあり前日來五十錢方引締りたり

新東拓漸落

東拓新株は八十二圓處を維持し盛んに取引されたるが其後漸次軟調を辿り第三回拂込後の相場は九十圓處を唱へられ十二圓五十錢の拂込を控除すると七十七圓五十錢に當り最近三四圓方の低落を來せり

現物界の傾向

一時は銀行株保險株等に對する買氣は素晴らしきものありて種株類は一齊に好況を呈したるに拘はらず近來に至つては反對の現象を示して飛角の買物勝ちなれり例年五六七月に掛けては有の株種は買はれ易き例なるに今年は增資流行の爲め八九月に亘りても依然たる買人氣なりしがソレだけ却つて反動を招けるものなるべく又此種株は增資も一循終るに將た見越買の行はれしものも材料切れこなりしに加へ値高は何れも高き爲め前途の樂しみ薄く同じく鐵道株こ雖も電氣電鐵物の如きは値頃關係上買妙味のなき實物に乏しき狀況なり然るに此傾向は轉じて投機株に向ひて大株買こなり將た權利株に向うて新設會社の好況こなりて現はれ居れるが京阪土地の暴騰高九十倍際を示し長門提商株亦更に最氣好く國際映畫株が活動寫眞流行の際人氣を集めて頗る人氣に投じ居れるなど其一例にして株界全般としては時に冷靜あれども斯くて投機株又は値嵩の低きもの〻新株物等の選擇は盛に流行しつ〻あり

株式風聞錄

京城現物組合成立後初めての試みとして十七日から開かるるは京城證券商品信託公所を通じての所謂新東株式で無論株式取引所の取引を遣るのであるが信託公所なんて名稱が支那式だから朝鮮あたりの內地人には馬渡驛きが惡いやうだ▲京城の現株市場は此頃こそ行惱んで居るやうだがこれが今にも許可されるやうに噂された當時氣の早い連中は其の權利を三十五圓とか四十圓とか騷いで甚だしいのになると豫約までして步いたのも不埒者もあつた位だから信託公所のプレミアム五圓以上には買物だと云つてる向もある▲愈々お祭りが來たが去年のお祭りには株屋連中車なんか引つ張り出して馬鹿騷ぎに大いに景氣を付けた處が僅內地株は一齊に暴落して來たおマケに例の成金風邪にバタ〳〵とやられて仕舞つたから今年は自粛い意味で騷がないことにして居るけな矢張り此連中には擔ぎ屋が多いわい▲此頃のやうに商賣が閑散で電話口に牛欠伸を咬み殺して居るより一ッ景氣をつけてはドーダス

兜町だより

▲財界の現狀には勞働問題や金融の緊縮が橫はつて居る更に其前途には徹底的物價調節策や法人所得稅の增徵問題が橫はつて居るべき傾向を以て各會社の收益狀態は減退するから株式の景氣も望まれるので此の如何に地方の景氣が好いからこてソウ買ひ得るものでないこは少しく何人も感じ得る所である▲隨て目先の相場を買進むのは危險の際であるけれども洛々として流行し出した投機熱は未だ其絕頂に達せず徵溫的な物價節策や金利の引締りに依り前途を少しく冷却せしめ得るも何分行くな所迄行かなければ止まぬ形勢を見る或時期が過ぎる迄直ちに又頭を持ち上げて來るのだから必ずしも經濟的常識のみに依り前途の相場は判斷出來ないのである▲東株は休日前から一寸二十四錢となり大阪の野村村は相變らず買ひ方を續けて居るが相場は頗る堅實りして居る其他の客筋が前途尙大なる高値が實現すべきを信じて相變らず買進んで居る爲に外ならぬ▲其に付某證氣の言分を聞くに東株の值打ちは最近時日の問題、東株增資の值打が大きく爲に最低三千萬圓の增資こし功勞株として三萬株分を差引くも猶且一株に對し一株四分二厘五毛の割當となる斯くて權利を百五十圓と見て一割四分二厘五毛權利代金は二百十三圓七十五錢こなるのだから昨今の居所尙割安だと言つて居る▲鬼怒川水電と猪苗代は將來合併すべきものであらう縱し合併せずとするも兩社の水利關係は接近して居ると言ふので鬼電は買募はれて居り尙東京毛織も製絨所拂下げの發表で利喰安を演じたが昨今又復買氣を集めて來た樣である則ち端株類は尙循環的買氣を集めて居る（十三日）

◆電話增設◆ 電話長五八八番
有價證券現物問屋
株式會社 野村商店代理店
田中友吉商店
京城本町二丁目 電話長九九三番 三〇五四番
受信略號 ケイジヨ ウタナカ

米況

大阪期米特電

十六日前場		日後場
當限寄付	四十五圓丁度	……
當限二節	四十五圓丁度	……
中限寄付	四十三圓八錢	……
中限二節	四十三圓〇九錢	……
先限寄付	四三、三〇	……
二節	四三、三一	……

神戸期米特電

⊕十六日前場		日後場
寄付	四二、六〇	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

下關期米特電

⊕十六日前場 値頭反動

	常限	中限	先限
寄付	四三、五〇	四三、八九	四三、六六
高値	……	四三、八九	四三、七〇
安値	……	四三、一〇	四三、三五
止め	……	四三、五〇	四三、二九

仁川期米

十六日前場 阪地安氣配に叩く

前日より場面總賣りの光景を示し引際不勢の成行を示して打止めしが今朝は天候晴天阪地の寄電未著なるも當局は第六回外米賣出しを續行する由にて其値段は來る十八日の賣出し値より安値を唱へらる〻を嫌氣し阪地期米三四十丁安と報せるに益々人氣は弛み當四十三圓九十五錢こ分の買ひに始めしが力の弛みし中四十四圓二十八錢こ中の買に寄付六錢こ小弛みせしかば先四十二圓三十錢こ四錢安に始め二十五錢こ弛みしが買方筋の防戰に再び三十錢こ盛返したるも賣店より益々弛みて三十錢方の賣に叩き十五錢こ崩れし處に弛みて七錢こ不勢▲第二節 當四十三圓九十五錢と中二十五錢先十錢より〇九錢と下げ後りしが目先手詰め押目待ちの新規買ひにヂリ〳〵締り▲二十錢と手堅く引▲第三節 當出來不申中三十錢より四十錢と上伸したれば先限も買氣を促進し二十四錢より四十錢と返し戻待ちの買ひに三十七錢と伸したる④を好く買ひて四錢と手堅く引▲第四節 當出來不申中三十五錢と始め先三十四錢より⑦④と返し三十八九錢を保合ひたる機先大阪前寄の據切安を早耳せし手より猛烈に賣込み續いては⑦の利喰ひも出で⑦の買物を消化して再び十錢臺に叩きたれは鮮人筋の九十五錢と反落せしが阪地電報を聽念せし買物に一錢と戾して引▲第五節 大阪前寄當限四十五圓中四十三圓八十錢先四十三圓三十一錢と安電に接し當限出來さるも中十五錢より四圓臺割れの八十錢と追戰され先愈賣氣を集中し買方の防戰に四十三圓丁度より〆六錢と押されも遂に敵せず再び三圓臺を割り二圓七十錢と軟派の手詰め安値は硬派の買直しの猛烈買に〆金丸安ほ他も好く買りて八十錢と押し二錢と不勢に引

買過き反動

前日は場面軟弱の傾向となれる折柄今朝は大阪安氣配を移して因りに場面又々崩れ先三圓三十錢より緒九錢と二十一丁下押しを演じ跡强氣の防戰的猛烈買に一自四十錢と逆襲せられたる折柄大阪反落の入電に人氣急變軟化して買方の手詰め投げ物の續出に五節は遂に三圓の大關門を打破り二圓七十錢と高値より七十丁の反落を示し引際强氣の防戰に九十錢り返し八十錢と寄に割込み硬軟大激戰を演じ結局八十二錢と呪合ひに打止めしが後場は尙一段の下足を見る模樣可也

下關米取引所仲買
舛 桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度確實可取御取扱可申候尙弊店ノ信用ニ關シテハ下關第一銀行住友銀行支店又ハ百十銀行ヘ御問合セ乞フ

內地は更に軟化

內地米十四日の狂的暴騰は既報の如く第五回外米拂下げ價格の高値と優柔不斷なる物價對策の缺陷に乘じて買煽りたるによるものなるが如何に猪突的の一方一派と雖も季節と値頃を考ふれば此上一氣に煽りもならず高値は又軟派の活動ありて昨市場は著しく不勢に變じたる機先政府は更に來る二十二三日頃より十七萬五千石の外米を拂下げんこする噂あるが如く第六回賣トト米は惡米多く價格は第五回拂下値に比し非常に價なる由傳へらる〻と且つは代用制撤廢運動等を傳へらる〻と折柄東京市場は解合不調說狙らひの狀態に市場一般の人氣は更に軟化の模樣ありて今前場の大阪寄付四十三圓卅一錢と十四日前場の高値より約百八十丁方の急落を演じ眼先尙一暴落の氣構へあるやに報せらる

十六日前場

寄付	止め	高値	安値
四三、三〇	四二、八二	四三、四〇	四二、七〇

公定相場

一節	二節	三節	四節	五節
四三、二四	四三、一五	四三、三四	四三、三一	四二、八八

本日出來高三十一萬六千七百石

帳入値段 當限 四十三圓九十四錢　中限 四十四圓二十二錢　先限 四十三圓一十錢

市場雜觀

昨後場は買方も安値を拗ねんこ構分戰の手振りであつたが實際は人氣總賣りである斯ふ値頃で賣を止むる事になりては安い相場もか材料的相場の多い事が多いので他人の仙氣を頭痛に病んで居る向も有るが併し弱氣こしては▲新米期の四十三圓臺は實つて出るのが當然で今の中限が新甫時代は三十九圓十錢迄崩れを見せたのみならず內地は又も調節氣構へこか代用制は十二月限り廢するなご弱氣の耳には材料こせられ居れは此の代用制の撤廢は硬軟何れの禍の神こなるかは容易に豫知し難きこ雖も▲今日の鮮米を外米より安値を望むと云ふは如何に軟派でも相場の律を矛盾視して居る向がある▲此間の買方の手揃ひが增加する丈妙味が薄くも思はれるから引所から臨時增證こ來るからみならず弱氣屋の店は益々立場に苦しむ理であるが▲買方は相當の有力者が勢を揃へて居るので有るから此の調子から觀測すると限月せんも限らぬ▲買方にも相當の力あり云ひ難いのみか大相場が出現するから其れ程軟派の悲觀した事には無い大暴落を來すやも計られねば何時でも好いが雖平に乘じて氣焰を吐くも買方こして膝に乘り出る間は方面の轉換期は來ぬこ餘り弱氣を莫迦にして高値を摑むこ買方が相場を安くせねばならぬ破滅に陷るやも分らぬは弱氣に任して割安さへ買ひて置けば結局は强氣に花が咲くだらうこは强氣の觀測

京城正米市場

昨日前場は氣味の當正米氣配は十四日の東京正米四十錢大阪十錢神戸三十錢下げ二十錢安を報じ今前場期米は各地更に不勢の入電ありしが暫くすれば市況多少の弱含みを呈せり雖古米の出廻り稀薄こ新米尙早の折柄にて荷主は飽迄頑强を持し安値は容易に應ぜされば相場は人氣に添はず節は多く見送り方針を取り居れば商內更に行はれず精米は地場上物は相變らず四十三圓八九十錢より四圓處を唱へられ居れば商內は更に行はれず兒に角內地の一般軟化を移せる機先こて何れは當市場も之に追從するに至るべし

仁川米豆取引所仲買人
㊗ 仲買店
電話 一五八 一五九番

粟愈々氣直る

粟は元山方面を初め其他より續々賣望みあると正米の强調滿洲產地の高氣配等にて買氣益々加はり來れると同時に氣配は前日來更に三四十錢方の昂騰を示し今朝は遼陽一車十七圓▲奉天現物一車十七圓▲鐵嶺現物三車十六圓五十錢營口十一月渡二車十七圓▲四平街十一月渡三車十五圓七十錢▲奉天十一月渡三車十五圓五十錢にて手合せ行はれたるが海城現物は買人十七圓五十錢見當の唱へなり

京城岡崎町
福岡精麥所
電話長貳壹六四
櫻麥 挽割麥 日の出麥

大豆益々好調

本品は移出口の買望みと實物稀こに漸次騰子付き今朝は更に强氣を唱へられ龍山物古二十三圓五十錢にて八百三十六叺瑞興物二十二圓五十錢にて四百十四叺の手合せ行はれたるが賣物は引締り多からず

仁川正米市場

前日精米筋の買進みに高步調を示せし當地正米は今朝期米の安移りを受け買方一齊に見送り態度こなりたれば午前中は商談更に行はれざりしが安値は賣人の手控へにて二三十錢安の見當を唱へたり▲大豆は更に切高を示し龍山物は二十三圓四十錢にて四百叺の手合せ行はれたり

釜山正米市場

十六日市場は行惱の姿なりしも賣方高唱への爲め四十三錢高の氣配を示し二等神力四十六圓五十錢にて五百俵、七百俵出來大豆は五十錢高を唱へ新二十六圓五十錢にて五百俵古二十三圓五十錢にて三百俵出來たり（釜山特電）

演藝案內

本町一丁目 有樂館改 喜樂館 電話九七番
當る十月十七日より提供特選映畫 ◎實寫 海上の漁業 ◎喜劇 ◎伊太利ヘレンエスペリア夫人主演
原名『春の夜の悲劇』 毒蜂 全六卷

京城明治町 電話二六〇 浪花館
當る十一日より毎日午後六時開演 東京落語研究會幹部 春風亭柳窓一行

▲五大力仙太

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三 大正館
當る十月十九日より特選大寫眞提供 ◎人情劇『女中入用』 ◎活劇『海の彼方へ』

▲大切喜劇
▲東京落語 春風亭柳窓

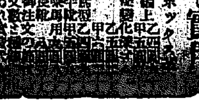
本町一丁目 電話一〇五〇 壽館
加賀の忠臣藏

京城學校組合告示第七號
收入授業料及保育料徵收規程中左ノ通改正ス
大正八年十月十六日
京城學校組合管理者 金谷充
第一條中「五日限」ヲ「十五日限」ニ改ム
附則
本規程ハ大正八年十一月分ヨリ之ヲ施行ス

住宅向賣却
所在 南山公園昇口ヨリ右ヘ三坂通ニ至ル御成町附近
平家建坪 十九坪 敷地 二百三十坪
右賣却ス至急望ノ方ハ社內奧田ニ御面談ノ事

自動車
運轉手技師販賣店員 都會の華
開祖東洋第一番の本校卒業生は每年好成績好就職
東京自動車學校
大阪自動車學校
京城自動車學校

軍手卸賣

丈夫で安い實用

ツブク 振替東京四一八八

汽機 エンジン 同上 同上
中村幸商店

公債株式現物 開洋商會

急告 新に生れた時季のお知らせ
公益社

たんせきと引風邪にセキドミン

伊達騒動

第三十二席　小金井芦洲講演

頼母殿の非道を怒る

殿『オヽ左樣か、苦しうない差許す』御案内に從つて頼母は御前に進む、熨斗目に行儀の社杯、靜々と進んで御前に兩手を突かへて頭を垂れ頼『ヘヽッ』殿『オヽ頼母久しう逢はんであつたのう、此度は遠路の所遙々出府大儀に存ずるぞ、何時もながら其方健かで目出度いの』頼『恐れ入りましたる君の上意、御節義にも愈々御勝れ遊ばされ祝着至極に存じ奉ります、不肖分け今日は霜月十五日、式日の嘉儀を申上げ奉りまする』殿『ウム、予は唯今より登城をいたして將軍家に御祝辭を申述なければならぬ、其方は遠路出府をいたして路次の勞れもあるであらう、小屋に戻つて緩々休息いたせ』頼『ハッ、有難き仕合せに存じ奉る、なれども此度出府仕りましたのは御一門四十八館其他一同の者の名代となつて急々に申上げたきことのあつて罷り出でました次第にございまする、御登城あれば手前詰所に控へ御歸邸あらせられまする迄御待受け申上げ奉る』殿『アヽ左樣か、夫りや其方の自由に致せ、遅うなつた、予は早速に登城いたすであらう』ゾーとお席をお立ちになつてお奥へ、悪人の近侍共も殿樣のお後に尾いて這入つてしまひました、お後姿を見送つて居りましたが、何うして自分の小屋なぎへ歸る所ではございませぬ、一門詰所と云ふのがあるから其處へ來て待受けて居る、嚴格な方で四角四面に坐つた切り、身動き一つしやうともしませぬ、所が綱宗公は登城どころではない、御自分の居間へお這入りなさると例に由つて御酒宴、傍には渡邊金兵衛荒浪梶之助を初め悪人共が詰めつ何ねつ面白可笑く御相手を申上る殿『ごうぢや金兵衛』金『ハア』殿『頼母は遙々國表より罷り越して此の予に對して意見を致さうと云ふのぢや、意見なごは聞くも厭ぢや、然し彼は家柄ではあり、旁輕々しく手討にもならず、據ろなく登城と申して閉籠して控所に予の歸邸を待たせて居るであらう』金『恐れながら申上ます、待たるゝより待つ身になるなどいふ譬へがございます、待つと云ふのは誠に辛いもので、一段と又御館の御計略當意即妙……好い御趣向でございます』殿『ウム面白いく、其の揚句に悄々として下るに違ひない、明日參つて予に取次ぐ迄もなく返してしまへ』金『畏まりました』罪な話で笑ひながら大きなものでガブリく酒を上つて居らつしやる、さて頼母は何時まで待てど暮らせど更に御歸邸の樣子がない、不思議を打つてお坊主を呼んで段々樣子を探はせると御登城とは眞赤な嘘、御居間において御酒宴と聞き怒氣滿面に溢れ、直に詰所を立つて其儘に奥の間を差て這入つて來た『アヽ白河樣、恐れながら殿樣御居間でございます、是れより先へ御這入り遊ばしましては相成りませぬ、勿體至極、御邸を願ひたう存じます』頼『默れ、汝等頼母の身分を存ぜぬか、栗原郡眞坂の館主白河頼母であるぞッ』『ではございますけれども』頼『出羽も奥州もない、予は何處へなりとも自由自在に通れる身分ぢや』『へイ』挨越しに殿『何ぢや』金『白河頼母樣これへ參られましたやうで』殿『來たかごうも彼奴に此の體爲を見られたら一層意見の鋒先が鋭からう、早速ながら此の杯盤狼藉みな取片付けねば相成らぬ、早くく』金『ハッ、畏まりましてございます』早くと云つた所が頼母の立つて居る室の方へ運ばなければなりませぬ、據ろなく金兵衛が杯洗の水を明けるとき大きな丼を襖に捻込む、盃を長柄の銚子を狹へ忍ばせる、浪之助が大きな鯛の燒肴を皿毎懐へ押し込む、膳を尻の下へ隱す、横山豊太夫なごはお口取の皿を懐へ入れたから栗のキントンがベタくして苦い顔を致して居る、所へ襖が開いて白河頼母静々と罷り出でました。

京城明治町　電話三四〇
産科婦人科
中央婦人病院
院長　衣笠舜山

十月十八日
(舊)八月廿五日　土曜日　みづのえさる　九紫　引　女

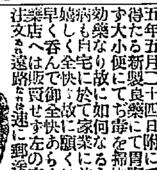
▼九紫▲油斷のない難き日なり
▼一白▲誠實なれば引立を得て意外なる利益を得る日なりとす
▼二黒▲女に注意すべし
▼三碧▲注意さへすれば萬事に都合好き日にて物事成就すべし
▼四緑▲身分不相應の事でなき限り望みごとは總て叶ふべき日
▼五黄▲金錢上の心配ある日出も性急なれば却て吉運を逸せん
▼六白▲控目にするが好き日
▼七赤▲よろづ順調に運ぶべき日
▼八白▲捗々しからざる日なり

十月十九日
(舊)八月廿六日　日曜日　きのとみ　八白　▲危　▲やぶる

▼八白▲急がば廻るべき日なり
▼九紫▲不平起り易き日なれど耐ゆれば引立を受け又利得あり
▼一白▲金錢か物品に縁のある日なれど酒色の交際を注意の事
▼二黒▲目下の事にて心配あるや知れず物ごと七八分通り叶ふ
▼三碧▲活潑にて表面愉快なるも内心疑惑ある日交際注意
▼四緑▲物ごと延引勝になる日
▼五黄▲掛合ごと柔和なれば却つて勝つべし兎角疑心の起る日
▼六白▲名擧揚る日にて願望叶ふ日或は遠方の便りあるや不知
▼七赤▲遠方の便りあるやも知れざる日にて失物を注意すべし

郷里歸省中の處十日歸院從前通り診療に從事致候
京城黄金町三丁目(永樂町通)
本田病院
院長　本田建義
附屬　京城肛門病痔疾療院

急告く急告
毛布　暴落　買時
本毛製特別大判　金三圓廿五錢(茶、鼠、カーキ色)
軍隊用と亞弗利加輸出の爲に馬鹿高でとても買付けられぬ毛布も休戰以來の大々的下落は遂に破産者續出の悲慘を來し是等救助すべく今日迄の特選品一手に引受何らゆる物の高いのに非常の利的なればこそ事實原毛の代金にて賣す(優良無疵新製品)旅行家は勿論新聞代用として誰れでも無くてならぬ必要品ハガキで申込次第受付順に小包郵便で御自宅迄送付す代金は其節御支拂下されたし尚御買入の方は御知己に御吹聴を乞ふ
東京神田　株式會社東京毛織仲繼店

完全なる専門の藥
當商會の發賣する肛門藥は大正五年五月二十四日附にて認可を得たる新製良藥にて胃腸を害せず大小便にてち毒を掃快する特効藥なり故に如何なる永年の難病も自宅にて全快す故に家業に差支無く香んで御全快あらんを願くは一日も早く本店へは販賣せず左の商會へ御注文あれ遠路なれど速に郵送致します


論より證據呑んで其効顯を味へぢの手術は肺病を來たす恐れあり他の付藥、油藥、下痢藥におずぢは又子孫に遺傳す
朝鮮湖南線裡里
本部　裡里　**肛門藥商會**　振替京城五六二一
支店募集す

人生一代の快樂珍書
男女生殖器　全書
飛切賣る早く買はねば品切となる物價壹圓廿錢付ポケット形カナ付四十八錢切手五十三錢で密送

若き女の手紙
是は男女交際の秘訣書なり此書に依て手紙を書かば如何なる方でも掌中に入る五十四錢切手六十八錢密送す

怪美人
此美人ありて此男子あり此男子よく此美人をきは詳参の御推察
金五十六錢切手六十六錢　金一圓五十錢切手一圓七十錢
東京神田岩本町　振東二七五〇三　**東洋書院**

月やく
●こまり心配の人●頭痛がする●めまいがする●何となく腹に心悪るくして人知れず心配の方くり用ひて御覽下さい

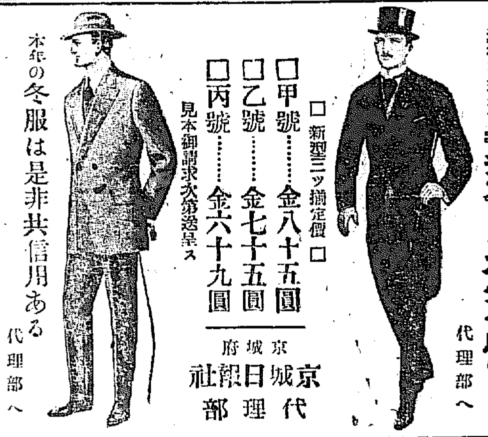
動かぬイカサマ藥に迷はず御出下さい出來ない方は切手封入で申込あれ永年經驗ある害なくして不思議に下る妙藥を御知らせ致します(二番たしかな藥)
大阪東區東雲町停留所東　いづみ屋

外科内科　皮膚科　黴毒科
京城旭町一丁目　電話一七三六番
島崎病院
院長正六位勲四等(元陸軍軍醫)　島崎龍

周易　家相
京城明治町二丁目
岡村介石

優等清酒

京城永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番
仁川京町　本莊支店　電話二六番
釜山東幸大倉橋通　本莊支店　電話一一七番

流行に遅れずキチンとしたスタイルは代理部へ

□新型三ツ揃定價□
□甲號……金八十五圓
□乙號……金七十五圓
□丙號……金六十九圓
見本御請求次第送呈ス
本年の冬服は是非共信用ある代理部へ
京城府　京城日報社代理部

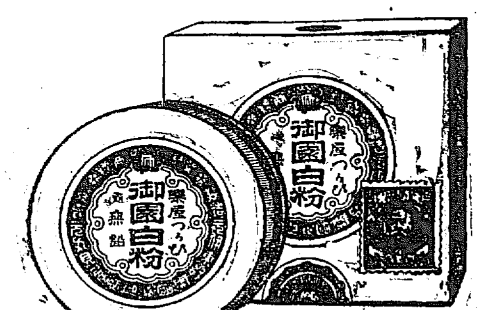
皮より強い理想的の
専賣　**柳織トランク**
◉其他旅行用具一切
◉魔法瓶及中瓶取替
京城本町電話五五四番
高木旅行用具店

風引には　大學病院模範方劑
KAZEPIRIN
カゼピリン　熱　風
本舗　淺野參天堂藥局
鮮滿無數の特約店に販賣す

大阪市外南海天下茶屋驛前北
本舗　田知本和三郎製
各藥店に販賣す　振替大阪二八八番

一生にたつた一度の晴れのお髪上げには
『必ずホーカー美髪液を用ふることに定めて居ます』と、全國の髪結さんや美容術師が皆仰言います
ホーカー美髪液は實に、全國の髪結大會に特選された、光榮ある理想的の髪油です、
效果一般
▲髪を黒く艶々しく美しい濡羽色となす。
▲チヂレ毛クセ毛を直し毛髪の發育を助く。
▲フケを去りヌケ毛を止め常に爽快ならしむ
(全國到る處にあり　大四十五錢小二十五錢)
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髪液　ホーカーパツト
東京神田和泉橋際　本舗　**堀越嘉太郎商店**
電話神田一四三〇・一四四〇・一四五　振替口座東京一一五六

此健全な眼!
多年苦んだ眼病も**大學目藥**をさして立派に全快し今は人一倍此健全な眼!!
本舗　大阪　合資會社　**參天堂藥房**
定價　貳拾錢　參拾錢　五拾錢　壹圓



濃化粧用
固煉**御園白粉**
極く晴れやかな美くしい濃化粧とか又襟足を際立て美くしく白く見せまするには、ノリとノビが非常によく、至つて濃く着く御園固煉白粉が一番です。
固煉御園白粉はとき水御園の露で思ふ樣に薄く溶きのばす事が出來、重ねて塗るも斑になりませんゆえ薄化粧用としても使ひ慣るれば誠に重寶な品です。
本舗　**伊東胡蝶園**　發賣元　**丸見屋商店**
(421)

汽車 [illegible]

京城日報

（年中無休刊）

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

ポケット　十一月號

講談雜誌

▼▲義士銘々傳……悟道軒圓玉　ふくる宵……伊東深水

源藏　德利の別れ　芝居でも浪花節でもお馴染の源藏徳利の別れ、だが此の講談は實録でまた異つた味ひがある。知無師大得意の語り物、これを讀んで涙をこぼさぬ人はよもあるまい。

捕物日記　家鴨市　春宵……馬場孤蝶

落語　お行の松　前田曙山

探偵　白痴文吉　前田孤泉

落語　鍛冶屋の音　三遊亭圓窓

尼子氏　十勇士　小金井蘆洲

▼▲稀代の毒婦……一龍齋貞玉　幻　おろく　おろくはウマ／＼横濱へ乗込んだ先夫の長吉として吉野屋へ…と拾つた三五郎が…

落語　奈良の鹿　橋ノ圓

月岡　峠の暗仕合　一龍齋貞山

郡内屋庄作　柴田馨

懸賞　和歌……（選）　俳句……（選）　定價金

▼▲大久保政談……悟道軒圓玉　吹上　御殿の再調　いよ／＼吹上御殿で大久保彦左衛門の再調べ、其さばきの結果から喜内太助の奥州下り、太助の粗忽が却つて大切な證人軍兵衛に逢って正邪判明、悪漢の末路やいかに

東京市　博文館　振替東京四十番

日輪　お辰（笹兵衛の女房）　白砂

武家氣質　落武者　大橋青波　大阪陣に一敗した明石掃部の孫右衛門は如何に…君の在所を明さない。将忠無二の老武者が忠義に凝つた面影を見よ

讀物　書夜帶　賀田哲運

美少年　伊達茶筌　本田美禪

講談　成金村　波邊亭

挿繪小説　心の秘密　前田孤泉　生別した兄と妹とが不思議な場所で名乗り合ふ。それに絡んだ戀と義理若い二人が美くしい涙の色を見よ

津輕名物　萩桂物語　堤　晴

西鶴奇聞　妾披露　大米雄

奇人競べ　節齋機谷　熊文

芝居小説　德兵衛の妻　竹柴秀一　女房お辰は義に勇んで若い磯之丞を守護する爲に、捕手を一手に引受けながら、赤い血潮を清い流れの上に流した、壯絶な光景を見よ

日鮮同化　馬賊の奇襲

高知縣の珍税

板垣伯の墓守翁

兵營内の地藏尊

懸賞（俳句川柳等）

定價拾錢　一郵税　武錢

探訪記者の手帳より……（その六）

田中正造翁　松崎天民　義人を中心として谷中村事件を描く、死せる谷中村は今も谷中村民の心の中に生きてる……

最新最良の理想的中學講義録に依りて立身成功の基礎を造れ　時は今也速に斷ぜよ

大日本國民中學會

第卅二回　新學期開講　各種　大特典提供

砲火の戰は止みて智識的戰爭の時代は來れり此の新時代に處して成功の桂冠を獲得せんとする天下有爲の青年は相率ゐて本會に來り學べ

三段式新教授法により新に編纂せる斯界空前の中學講義録は僅少なる費用と一ヶ年半の短時日とを以て優に中學校卒業の學力智識を獲得せしむべし。

學監　文學博士　…　…
學長　尾崎行雄

東京神田駿河臺
大日本國民中學會
振替東京四二〇〇番　電話神田三〇二三／三〇〇三

中學講義録を調へば何人も先づ本會を指摘して其の國家的大事業なる稱讃せざるはなし、斯の如き賞讃と信頼とを受くる所以のものは實に左の諸點が

■講義が新いから
■會費が廉いから
■指導が良いから
■學制が正いから
■基礎が固いから
■講師が善いから
■卒業が早いから
■成功が慥だから

他の講義録に比し優越せるに基因せるなり。見よ百七十万人に餘れる本會卒業者は如何に社會より歡迎せられつゝあるかを

講義録見本つき　會則　申込次第　無代進呈

化學工業界の權威書

新説　無機化學　理學士石田安治氏、理學士滑田喜太郎氏共譯（三版）キッピング及パーキン教授原著　菊判洋裝全壹冊　定價金參圓貳拾五錢　郵税金參拾六錢

新説　有機化學　理學博士龜高德平氏、理學士滑田喜太郎氏共譯（九版）キッピング及パーキン教授原著　菊判洋裝全壹冊　金四圓五拾錢　郵税金貳拾七錢

化學工業用機械　東京高等工業學校教授　佐藤榮吉氏著（三版）　菊判洋裝全壹冊　金貳圓五拾錢　郵税金貳拾七錢

化學工業大要　理學博士加藤與五郎氏著（五版）　菊判洋裝全壹冊　金貳圓參拾錢　郵税金拾八錢

最近化學工業試驗法　工學博士田中芳雄氏、工學士安藤一雄氏共著（上卷六版下卷五版）　菊判洋裝全貳冊　上卷金參圓參拾錢　下卷金參圓參拾錢　郵税各金拾七錢

無機製造工業化學（上卷）　工學博士田中芳雄氏、工學士安藤一雄氏共著　菊判洋裝壹冊　金五圓　郵税金拾七錢

有機製造工業化學　工學博士田中芳雄氏、工學士喜多源逸氏共編（上卷五版下卷三版）　菊判洋裝全參冊　上卷金八圓　中卷金四圓五拾錢　下卷金四圓　郵税各金拾七錢

最近工業藥品製造法　工學博士喜多源逸氏著（訂正三版）　菊判洋裝全壹冊　金四圓參拾錢　郵税金拾七錢

石炭乾餾副產物工業　工學士田所哲太郎氏編（再版）　菊判洋裝全貳冊　上卷金四圓　下卷金參圓七拾五錢　郵税各金拾七錢

食品化學　工學士辻本滿丸氏著　菊判洋裝全壹冊　金五圓參拾錢　郵税金拾七錢

海產動物油　工學士渡邊周氏著（上卷三版下卷再版）　菊判洋裝全壹冊　金五圓　郵税金拾七錢

綿絲紡績　桐生高等染織學校教授　吉田京一氏著　菊判洋裝全貳冊　上卷金參圓七拾錢　下卷金參圓　郵税各金拾七錢

內外織物組織製造學　理學士川口德三氏著（四版）　菊判洋裝全壹冊　金參圓五拾錢　郵税金貳拾七錢

色素製造化學　東京高等工業學校教授　中島武太郎氏著（正編九版續編五版）　菊判洋裝全壹冊　金參圓五拾錢　郵税金貳拾七錢

實用色染學　　菊判洋裝全貳冊　正編金參圓五拾錢　續編金四圓　郵税各金拾七錢

香料の研究　農商務省商工局編　菊判洋裝全壹冊　金五圓五拾錢　郵税金廿六錢

最新寫眞術　工學博士鴨居武氏著（七版）　四六洋裝全壹冊　金參圓　郵税金拾八錢

東京市日本橋通三丁目　大阪心齋橋通　京都三條通　仙臺國分町　丸善株式會社

醫學得業士　若林哲郎氏創製

腸內強力殺菌新藥

ワカ末

黴菌に因る腸疾患就中急性及慢性腸加答兒、赤痢、腸チブス及パラチブスの初期、大腸菌性腸炎

大腸菌性膀胱加答兒、其他大腸菌に因る諸病に特効あり斯界大家の唱道する所なり、文獻御申越次第進呈す

定價　末劑壹瓩入金廿圓五十錢　同　半瓩入金十一圓五十錢　同　廿五瓦入金一圓二十錢　錠劑五十入金八十錢

各地藥舖にあり

東京市麻布區笄町　南信堂藥局　振替東京七八五〇

十一月號

日本少年

運命の糸に繰らるゝ露國の少年　アレキサンドル、コゾセキー

父母は戰線に立ち唯一人の祖母と共に取り殘されて淋しい生活をして居た少年は杖とも柱とも頼し祖母に死別れ見も知らぬ農夫に助けられて革命の間を流浪した小説よりも哀れ深い少年の身の上話

お伽對話　今日から安心　瀧澤青花

少年小説　弘と小島　中島紅島

滑稽小説　ほかく麵麭　沼田青波

傳説物語　山姫の舞　藤澤紫浪

探險實話　北千島より　德川侯爵

十一月號

幼年の友

最新附録　表紙の仕掛　こんな面白い附録がありませうか。表紙の一部を拔くと鶴や亀になり乙姫様が魚のお供をつれて浦島のお迎へに出ます……

新考案　變り繪乘物競爭

實話　お庭の雀

新お話　隱れん坊

滑稽　牛若丸

新繪話　菊人形

新繪話　大競馬

日本少年、少女の友　一冊廿三錢郵税一錢　半年六冊一圓五十錢　幼年の友定價一冊十七錢郵税五厘半年分六冊郵税共一圓

東京京橋（振替東京三八六番）　實業之日本社

十一月號

少女の友

薄命の少女　野口君子を弔ふ（記者）

野口雨情氏の遺子　他に歸る病氣のハラ／＼と戸を打つ去年の秋我が可憐なる運命の少女野口君子さんは、其の短い暗い十五年の生涯を終られました。殘刻な社會の咎こそ痛ましい運命の扉の手に誰か涙なきを得ませう

お伽噺　お父樣の髭……淺原鏡村

少女實話　父を探す子……岩下小葉

少女音樂　オペラの話……中山晋平

少女小說　旅から旅へ……高信峽水

滑稽對話　名婦合はせ……瀧澤青花

東京赤坂溜池町　本社

日本自動車株式會社

京城出張所開設　大和町大倉組內（電話二五八〇）

■自動車界の最高權威■

乘用自動車　ピアスアロー　ドッヂブラザー　ハドソン　フィヤット　エセックス　デムラー　ミッチエル

貨物自動車　ピアスアロー　ウーチタ　オネーダ　マックス　フエデラル　エル

消防自動車　アメリカンラフランス號　アーレンスフオックス號

水管自動車　ドッヂブラザー號

自動自轉車　ヘンダーソン　クリーヴランド　ハーレーダビドソン

其他　自動車附屬品全部　ダンロップタイヤ

■事實は無言の證言也■

總代理店　在庫豐富

西鮮殖產鐵道株式會社株式募集

目的及事業

本會社ハ朝鮮中最モ鑛林、牧、鮒ノ各產業ニ富ミ未開發ノ利源ヲ包藏スルコト夥シキ西部朝鮮ニ鐵道ヲ敷設シテ開發ヲ圖リ以テ物資ノ輸送ニ任シ沿道ノ各種產業ヲ經營スル目的ヲ以テ創立セラレタルモノニシテ好多望ナル將來ヲ有スル諸事業ヲ營ムモノトス

一、運輸並ニ其ノ附帶事業
二、倉庫業並ニ物資ノ委託賣買
三、生產物ノ加工並賣買
四、拓殖上必要ナル物資及建物ノ貸借賣買
五、土地ノ經營
六、鑛業

以上ハ歐洲戰後經營ノ一大要急事業ニ屬シ地方ノ開發ハ勿論延イテ國家的大問題ニ貢獻スルコト少大ナルハ疑ヲ容レサル所ナリ

本鐵道ノ沿線

本鐵道ハ京義線沙里院驛ヲ起點トシ載寧ヲ經由シテ黄海道ノ首邑海州ニ至リ更ニ分岐シテ長淵ニ至ルモノトス其ノ沿線ハ黄海道ノ穀倉地帶ニシテ農產物ニ富ミ又鑛山森林及牧場等ニ恵マレ海州ニハ良港アリ溫泉アリ將來ノ繁榮測知ルヘカラサルモノアリ

本會社ノ特色

本會社ハ設立後ニ於テ營業前ト雖モ總督府ヨリノ補助金アリ又現在三分ノ資金ニ對シテハ朝鮮總督府ヨリ年六分ノ利益ヲ補給セラルル特典アリ設立ト同時ニ營業ヲ開始スルヲ得ル便宜アリ沿線一帶ノ未墾地、鑛山、森林其ノ他ノ殖產事業ヲ以テ前途ノ好望ヲ期スルニ足ル

公募ノ理由

本會社ノ株式ハ東拓並ニ二三ノ銀行會社及發起人及贊成人ノ引受株ノ外之ヲ以テ市ニ一般公衆ニ公募スル所以ハ元來本事業カ國家的事業タルノ性質ヲ有スル好況ヲ呈セルモ發起人ハ特ニ貳萬株ヲ割キ敢テ一般公衆ニ提供スルモノナリ

募集要項

一　資本金總額　金壹千萬圓（株式總數貳拾萬株）
一　壹株ノ金額　金五拾圓
一　募集株數　貳萬株
一　申込株數最少限　拾株
一　申込期間　大正八年十月十八日ヨリ同廿一日マテ
一　申込證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢
一　募入決定方法　應募株數超過ノ場合ニ於テハ發起人ニ於テ適當ニ決定ス
一　第一回拂込金　一株ニ付金拾弐圓（但證據金ヲ含ム）

大正八年十月

創立委員長　子爵　松平直平

發起人　子爵　松平直平　……

贊成人（イロハ順）　……

株式申込並拂込取扱銀行

朝鮮殖產銀行本支店　朝鮮銀行　第一銀行　十八銀行　三十銀行　百三十銀行　漢城銀行　……

定款目論見書株式申込書印鑑要等ハ前記申込取扱銀行又ハ左記ヘ御申込次第送呈ス

東洋拓殖會社京城支店內（電話七九一・三〇〇ヨリ七九五）

西鮮殖產鐵道株式會社創立事務所

山東修正否決か 討議は本月末頃迄延期

米國上院に於ける山東修正案の討議は延期せられたり多分本月末頃表決の運びに至るべし 紐育サン紙華盛頓特派員の所報に因く上院に於ける山東修正案表決の投票數を豫測すれば修正案賛成四十六票、反對四十六票にして目下態度不明のもの四票あり斯の如くにして兎も角も該修正案は葬り去らるべしと（紐育電報）

佛講和條約批准

佛國上院は講和條約及英米佛三國協約を可決し愈々十三日官報にて發表さるべし之れにて平和條約は三強國の批准を經て公式に歐洲大戰役を結了することゝなれり 想ふに巴里にても之れより戰前の生活を復活すべく差當りカフェー料理店頭は茲に蘇へりて再び夜の歡樂境を再現すべし（巴里電報）

敗戰秘密發覺

佛國下院に於て一千九百十七年四月シャンパニューに於ける佛國攻勢失敗せる重大秘密を發せり（巴里電報）

ロ將軍召還拒絶

ゴルツ將軍は本國よりの召還命令を拒絶せり（巴里電報）

獨逸造船能率

獨逸造船能力は年五十萬噸ありと（巴里電報）

墺國と國際管理

墺國の爲め國際管理委員會組織さるべし（巴里電報）

タ氏立候補說

ダヌンチオ氏は國民黨より推せられ來議會に於て立候補を宣言すべしと傳へらる（羅馬電報）

劍橋大學總長當選

バルフォーア氏は劍橋大學總長に當選されたり（倫敦電報）

陸對靳總理祝電

陸榮廷氏は十四日靳雲鵬氏の總理代理就任に對し祝辭を寄せ相共に力を盡して南北の統一を促進す可旨の電報を致せり（北京電報）

戴暗中飛躍說

戴天仇氏は露國過激派と氣脈を通じ東三省に於て暗活躍せんと計畫中なりとの說あり（北京電報）

滿蒙除外反對

英國資本家は對支銀行團の滿蒙除外問題に反對を唱へつゝあり（倫敦電報）

對支借款契約無根

三菱會社と支那政府間に五百萬元借款契約成立せりとの說あるも右は事實無根なり（東京特電）

謝罪問題解決か 寛城子事件交涉行惱み

寛城子事件交涉の行き惱みは單に謝罪の一項に於ける張巡閱使か自身出頭して謝罪するを拒み居れる結果なりと傳へらる而して謝意其のものには反對を唱ふるに非ずして形式に拘泥しつゝあるに過ぎざれば形式を變更することに依りて近く本問題の解決を見るべしと（北京電報）

政府案 勞働組合法

第四十二議會に政府案として提出さるべき勞働組合法案に就ては決定までに愼重の研究を要し內容も未だ發表の時機にあらざる由なるが結局案として大體決定せるは

（一）勞働組合を法人として之を認むる事（二）組合の議決案は勞働組合員の選擧に係る議員を以て組織せしむること（三）議決の執行を要する關係常時役員（理事、幹事の如き）設置を認むる事

以上三箇を以て骨子とするものゝ如く巷間傳ふる理事長を官選とする云々の如きは全然誤謬なり（川村警保局長談＝東京特電）

德川公來鮮

德川公夫妻及び大倉喜八郎氏は十七日朝釜山上陸同十時發急行列車にて北行の筈（釜山特電）

教員優遇案可決

中學校長會議に於て教員優遇建議案を可決せり（東京特電）

長春客月金融 市場至極閑散

小鮮銀調査に據る客月長春金融狀況に就き聞くに特產物市場は先月末を以て殆んど一掃され新物出廻りも未だ其季に入らず北滿との廻着も殆んど見る可きものなかりしため輸出市場は至極閑散を極めたりしも先物に對する買付註文內地大連方面より盛んに到來せしこと〻て右引當には地方農家及び問屋筋この先物契約並に取引所に於ける定期先物取引等盛んに行はれ同方面に對する日本商人の放資額のみにて引締に達し支商側の

金融逼迫 を來し勞當月に於ける輸出方面の金融は例年の閑散期に似ず小繁を呈したり輸入方面にありては引續き盛行の要落に依り奧地方面に對する需要は更に引立たざりしも必需期に入りし內地三品の强調に依り當地方面貿易は益々好況を呈し且つ本部支那に於ては從來日貨排斥の結果取引中止の狀にありしも近來需要切迫に連れ山東滋西方面の如き一俵につき三十圓位の値開きを生ずるに至りしことなれば當地より逆送せられたる品も相當多額に達し市場活況を呈せり貨幣市場にありては特產物買付等のため需要期に入りし關係上官帖は月初二十六吊七百文を唱へしもの

漸次常調 を辿りて一時は二十二吊文迄昇騰し月末には二十八吊[illegible]露貨に至りては更に市場[illegible]利喰物表れ幾分低落を見しさは[illegible]月初く二千三百留見當にな[illegible]りしもの遂に月末には二千八百留を唱へ市況強氣配を以て越月せりされば近來露貨に對する思惑取引の如きは殆んど見る可きものなく何れも手を拱ねて觀望の有樣なれば貿易市場は至極閑散を極め居れり

總督指示事項（二） 道知事に對し

面制施行心得の改正 今次面制施行心得を改め新に處理せむこする面の事務內地人面長の任用面書記の定員及面職員の給與等に關する總督の承認又は之か標準を廢止し專ら地方官をして處理せしむることゝ爲し同時に之か改正に關する趣旨竝其注意事項を訓牒せる所あり是等の事項に關する所は面事務の改善及面民の負擔に關すること至大なるを以て能く其の趣旨を體し萬遺算なきを期せらるへし就中新たなる事務を處理せしめむとする場合に在りては深く各地方の事情及負擔の狀況を省察し時運に伴ひ緩急宜しきを制せしめ又面職員の任用及其の給與に關しては能く其の人物才能と事務の分擔等に留意し尚一層能率の增進事務の改善を企劃し可成其人員を減し給與を厚ふする方針に出らるへし

旱害救濟の方針 今年に於ける旱魃は其の區域廣大にして稀有の災害なるを以て之か救濟に付ては愼重の攻究を遂くるの必要を認め嚢に本府內に臨時旱害救濟委員會を組織し窮民救濟の方針に付一應の審議を了せり今其の梗概を左に述ふへし

一 被救濟者の範圍 旱害に依る被救濟者の範圍は大體農作物に著しく被害を受け爲に生計上に窮乏を告ぐるに至りたる小作農民に限るの要あり從て假令被害の程度を異にせずと雖自作者の如き相當の資產を所有する者に於ては適宜に金融の途を講し以て資金の融通を滑し得へきを以て之等は特に救濟の要なかるへし又被害地の小作人と雖年來の豐作穀價騰貴等に依て多少餘財ある者もあるへく或は代用食料の混食等に依りて來期麥收穫期迄を維持し得へき者も尠からさるへきを以て小作人の實狀に付ては十分之か闡明し眞に事情已むを得さるものに對してのみ之か方法を講することに留意すへし

二 救濟の方法（二）地主の救濟 被害小作人の救濟は多年の因習に從ひ被害地を所有する地主をして之に當らしめ地主をして小作人に對し金穀貸付の方法を講せしめ又は生業扶助の方法を講せしむるを可とす之か爲地主に於て銀行又は會社等に對し資金の融通を求めむとする場合に於ては十分斡旋の勞を執り比較的低利資金を融通せしむると共に小作人に對する金穀の貸付利子並原本の償還方法等に付ても苛酷のこととならしむる樣留意し救濟の趣旨に副はさるか如きことなきを期すへし尙地主をして小作人を救濟せしむるに當り一小作人にして數人の地主の土地を併せ耕作する者の如き又は地主遠隔の地に居住する等の爲舍音か小作料を請負ふ如き狀態にて收納する如きものに付ては自然地主の救濟力普及せさるものあるへきを以て之等被害民の救濟に付ては各地主をして適當に救助の方途を講せしむるか爲特に必要なる措置を取る樣留意を望む

二 生業扶助 被害民中他に資力なき者に付ては自活の方途を得せしむる所なり而して之か方途に付ては概要左記事項に付留意を要す

（イ）灌漑施設 灌漑施設を獎勵すると共に其の規模大なるものに至りては自然水利組合を組織する等多々の時日を要するを以て小規模の洑に依る灌漑施設の如き多くは工事設計も簡易にして且工費も亦大なるものにあらさるを以て地勢の許す限り溜池又は洑の新造を獎勵すると共に在來の溜池にして浚渫又は擴張を要すと認むるものの如きは此機會に於て可及的之か施工を促し以て後日に備へしむると共に之に依て勞銀を散布し生計の資に充てしむる樣留意を要す

（ロ）開墾事業の促進を圖らし 被害地方に於ては比較的大規模の開墾事業を經營せるものあるを見る其の事業費の大部分は土工費に屬するものなるか故に之か促進を圖るは又以て勞銀散布の一方法たるか故に之等企業者との間に十分聯絡し方法を講し被害民をして之か勞務に從事せしむるの方法を講せらるへし

（ハ）治道工事 被害地方に於ける治道工事起工に關すること事業定線に於て直營に係るものゝ如きは着々其の工事の促進を圖り居れり又京畿黃海平南平北の道に對しては勞銀散布の目的を以て地方費道路工に補助し起工を計畫したる從來此種道路は土工費の如きは賦役に依るを例とせしか救濟の爲特に其の全額を國庫より補助することゝし目下計畫中に屬するに至らは此の趣旨を體して事實之を施工し被害民をして之か勞務に從事せしむる樣適當の方法を講せらるへし

（ニ）副業の獎勵 結氷期に於ける生業の方途として豫め一般に副業を督勵すると共に勞働に從事し得さる老幼男女に對しては極力副業を獎勵し以て生計維持の一助たらしむるは必要の事項に屬す農家の副業に付ては其の種類勘からすと雖之か獎勵に當りては生產過剩の虞なき樣最も需用の大なるものを選定すへく而して之か生產品の販路及販賣等に付ては特に十分援助を與ふる樣留意せらるへし

（ホ）勞働出稼の督勵 被害地方に於ける勞務を要する事業に付ては自ら限あり被害民中勞働可能者の多數を其の地に從事せしむることを得さるを以て事情の許す限り他地方に出稼せしめ以て自活の方途を講せしむるの要あり之か出稼に付ては關係各道及企業者との間に交涉を遂け可成團體的出稼を獎勵することに留意を要す

三 直接救助 被害小作民中勞務に從事する能はさる者又は生業收入に依るも尙生計を維持し能はさる事情ある赤貧者に對しては各部落に於て隣保扶助の方法に依り之か救助に努めしむるも到底之に堪へさるものに付ては相當期間食糧の配給を爲すことを企畫しつゝあり然して之か經費及配給等に關しては追て指示せらるゝ所あるへし尙特に留意を要するは本計畫は旱魃の害を受けたる小作民の救濟に限るものにして今回の旱害に關係なき鰥寡孤獨其他の貧民に非さる赤貧者の救助の如きは自ら區別の存する所なるを以て混淆せさる樣深く注意を要す以上は救濟に關する大體の方針なるか之か實施に當りては周到の注意を拂ひ苟も濫救の結果惰民の風を助長せしむる如きことなきを期すると共に救助の恩典に浴するを得るの幸福を深く印象せしめ以て聖恩の深且大なるに感銘せしむるを期せらるへし

殖鐵重役顏觸

鮮殖產鐵道の社長は尙ほ決定せざれど多分朝鮮皮革專務取締役たる賀田直治氏の就任を見るべく專務取締役には同社の創立當時より盡瘁せし東拓參事西島新藏氏東拓の出資を代表して選任を見るべく又取締役には梅野實山本倫次郎の諸氏並に米人發起人中より一兩名加はるべしとの說高し

交換手形渡狀況

京城郵便局九月中の京城手形交換所に於ける交換手形授受狀況を聞くに內國爲替三十四萬七千八百四十五圓、外國爲替二百十三圓、振替貯金二百十萬二千九百六十九圓此の手渡總額二百四十五萬五千五十四圓此の口數一萬六千七十八口にして之を昨年同期の百三十三萬三千四百三十二圓此の口數一萬九百二十口に對比するときは金額に於て百十一萬六千七百二十圓口數に於て五千五百五十八口を增加せり

京城[illegible]事に關する重役會議にて決定召集通知を出したるが當期の成績は支出嵩みて振はず純益十三萬餘圓配當は前期の通り年一割也

明年米需給觀 本年は鮮台米三百五十万石移出か

臆測又は毎年第一回臆想よりも實數減少せる事例よりして結局は五千八百萬石位に落付べしとの說あるも近內地各地を視察して歸來せる某米穀大手筋の實地觀に依れば本年は農家に於ても米高の結果金の管理に充分の注意を拂ひ殊に肥料の如きも從來の如く

多給多收 といふ宣傳を無さず能く當局の指導に從ひ與へ的に肥したるものを用ゐたる結果蟲害殆んどなく且肥料も充分に利き加ふるに天候[illegible]晴なりし爲め一般政府豫想高に近き收穫を得べしと而して[illegible]より二百萬石[illegible]よりは五十萬石合計二百五十萬石の移[illegible]なるべく又大正八年末外米四百五十萬石の輸入と節米に依り端境に於ける在米潤澤となり持越米は優に三百萬石あるべし而して合計六千五百五十萬石は大正八年秋より來年端境迄の供給高にして之より消費高は食用六千萬石酒用四百萬石を控除すれば[illegible]外米の輸入を仰がずして尙ほ五十萬石は持越し得べく

悲觀說 內地實收高は[illegible]或は毎年政府の豫想數表より五千八百萬石見當を正當とすべく。朝鮮米は旱魃の關係より大減收せるを以て先づ百萬石なるべく（千二百五十萬石の總督府臆想は前年を千五百萬石と臆算しての事なれば）臺灣米七十萬石持越米三百萬石合計六千二百五十萬石にして一方消費は六千二百萬石の見込（一人當一石一升）差引五十萬石の剩餘にして少くも端境用として三百萬石の米を要すべく結局外米二百五十萬石內外の輸入を要すべしと

五州輕鐵進捗

神戶鈴木商店の主唱にかゝる南鮮の五州輕便鐵道許可を得居れるは全延長二百三哩に亘る輕鐵なるが右は本年末を以て同社設立の期限に達するを以て發起人側にても會社の成立を急ぐ必要ありとし目下諸種手配中近く京發起人小山庄三氏は神戶に赴くべく多分年內に株式の分募を行ふに至るべし

貨車二輛竣成

京管局に於て製作中なりし大型貨車の內二輛竣成したるが既成輛數を合せ十六輛となれり

朝郵定時總會

朝鮮郵船會社の定時株主總會は來る三十日午後一時本社に於て開會の筈

卅師團長觀察

淨法寺第十九師團長は汝矣島附近に於ける步兵第七十九聯隊第三期檢閱を觀察の爲め佐藤副官を隨へ十六日午前八時演習地に出張せり

教員試驗施行

小學校及普通學校教員試驗は總督府及各道に於て來る二十一日より二十六日迄六日間に亘り施行さるべきが總督府に於て受驗せんとするものは其の前日（二十日）學務局に出頭受驗心得及試驗所等を承合するを便宜とすべし

分團研究會

第二十師團主計分團經理研究會は十六日午前八時より龍山師團司令部に於て開會[illegible]奉氏の所感ありたる後分團長芝田一等主計の講評ありて午後四時散會せり

二部試驗合格者

京城醫學專門學校に於て施行中の第二回醫師試驗第二部の合格者は十六日發表されたるが受驗番號第七號、第十五號、第十六號、第二十一號の四名は合格せり追つて第三部（臨床試驗）試驗は二十一日の兩日に亘り總督府醫院に於て施行さる可し

冬營施設調査

京城聯隊本部主計正永富重晉氏は[illegible]冬營施設を視察し愈々完成なる冬營施設を悉すに決定し來月より其の準備に着手すべしと

仁取配當內定

仁川取引所にては來る十九日午後一時より仁川商業會議所にて株主定時總會を開會の事となりたるが配當は既記の如く年三割に決定

杉山總長通過期

杉山東鐵事務總長は明年度豫算其の他の公務を帶び十九日大連發東上の途に就くべく二十一日京城通過の豫定なりと

出張命令（十五日附）

總督府視學官 上田駿一郎 平安南道管內へ出張を命す（十五日間）

京畿檢米成績

九月中京畿道管內仁川、南大門、水原、烏山、平澤の各米穀檢査所に於ける玄米檢査狀況を聞くに檢査總數一萬三千三百四十叺中合格千百十七叺不合格一萬二千二百餘叺なるが不合格の主因は南大門の包裝不完全によるもの一萬一千八百餘叺其他水原の乾燥不良八十八叺平澤の夾雜物二百二十三叺なりと

人事消息

▲美濃部俊吉氏（鮮銀總裁）十七日朝出發の豫定なりしも行動の都合上同夜午後七時五十分發列車にて東上に變更せり
▲小山田新任咸南憲兵隊長 十六日入城任地に向ふ可し
▲川上常郎氏（東拓理事） 十七日來城の上南三泊し北行す
▲賀田直治氏（朝鮮皮革專務） 東上中の所十日頃歸城の豫定
▲太田爲三氏（咸興炭礦株式會社專務取締役）十六日夜入城、鮮ホテルへ
▲佐藤大連商業會議所副會頭 十六日夜退城
▲佐久間秀雄氏（松島洋行員） 十六日朝入城天眞樓へ
▲宮崎作太郎氏（郡山宮崎農場長） 十六日夜入城不知火へ
▲山口太兵衛氏 十六日夜釜山上陸同十一時列車にて北行（釜山特電）

烏瞰錄

[illegible]の傳はつた隈侯隱退說で大分隈侯派は驚いたが嘘と知れて見ると其風說の出所を調査したいものだ▲其山縣を探ねると直ぐ山縣公と大隈侯の會見說が出る。次で內閣更迭の噂がパッと世間に傳はつた▲處が此奴必ずしも政府側の神經に相違ないと觀た政友會側では已れ何時か仇を取らねばならぬと機を窺つて居た▲乃で其仕返しに隈侯隱退說を流布したものだ相な▲兎角政黨屋と云ふものは斯う云ふ馬鹿らしい人騷がせをやるから世間からも自然に信用されなくなる▲政府は我黨の爲に斷然たる物價調節にも出て貰ひたいものだべき憲政會さへ何時迄も世間の生活難を馬耳東風に知らぬ顔して居る▲此間に挾まつて唯獨り七轉八倒して居るのは一般の民だから堪らぬ▲日本では文字が毛唐の習字廢止を主張して居るが英國の新聞には斯う云ふ事が掲載して居る▲近年タイプライターが普及した結果一般に習字を閑却し益々惡筆になる傾向がある▲ラヴレター迄も殺風景な器械で遣つ付け如何にも性急な『厄介物が片附いた』つて調子だ▲大切な個性や快感を示す事を顧みないのは嘆す可き事だ▲西洋振つて萬事を謂つて居る▲西洋振つて行かんとする日本の政治家にも困つたものだ

漫言急語（一）

遼東還附時代 貴族院議員 永田秀次郎氏（談）

◆米國といふ國は、宣傳の國だ。政府で何か行らうとする時には二つの案を發表し國民の人氣によつて裁決をするといふ遣り口だ。斯う言つたプロパガンダの本家の前へ持つて來ると日本などは無智極まる次第だ。一部の支那人や一部の朝鮮人の中傷的宣傳に對して反對の宣傳も愚か打消しの宣傳すら爲ないでゐるでは無いか。

◆迷惑なことには米國の政治家の一部では反日本の感情を政事の道具に利用して騷いで居る[illegible]日本人が餘程怖いものに映つて居るらしい。殆くとも煙たい、恐ろしいといふ感じがある。夫れを捉へて政治家が選擧區民を煽つて人氣を取るの、こゝを言つて人氣に投じやうとする。其具に使はれる日本こそ良い迷惑だ。

◆尤も、近頃の米國は享樂主義のドン詰りに陷つて、亭主が日曜の散步に連れて行つて吳れないからと言ふので離婚訴訟を起す細君などがザラにある。佛國流に避妊法の研究などが行はれて民族の繁殖を厭ふ傾向がある。個人主義享樂主義の果てが家族觀念などといふものから漸次離れて行く。

◆ところが、米國に居る日本人は年々一萬人宛繁殖して行く。日本人街は兎街と綽名される程子供が元氣よく飛び廻つて居る。白人は元來有色人種を好きでは無い、黃人が目前に兎角で礙わり氣になつて排斥するといふわけで、黃人の先頭に居る日本を排斥するためには同じ黃人たる朝鮮人も利用す可し、支那人も利用す可しといふのだが利用される一部の朝鮮人や支那人の方では利用された後の形勢には一向無頓着で踊り廻つてゐるが、氣の毒でもあり、第一迷惑だ。

◆米國の資本は歐洲に散つて居る。方向轉換をして東洋に向ふまでには一寸時日を要する、そこで小手調べに支那での日貨排斥となつたといふ想像は當らずと雖も遠からずかも知れない。

◆ところが、現在の日本人は何うだ、此の形勢に對して極めて冷淡だ、斯う冷淡ぢや困る、今は遼東還附時代以上に重大な時期だ（續く）（東京支局）

定例休刊

十七日は神嘗祭に付き同日發行の夕刊並びに翌十八日發刊の朝刊は休刊す

平壤神社大祭 [illegible]
東京現株 [illegible]
東京株式 [illegible]
大阪株式 [illegible]
[illegible]期米 [illegible]
仁川期米 正米一圓三十錢安 [illegible]
返し高値摑みの投物と大混戰を[illegible]

物品賣却
第一號 古鐵屑類 九點 拾參點
第二號 古銅類 八點
第三號 空罐類 八百參拾
第四號 蓚油空罐 壹千壹百
第五號 紙屑 （二）拾貫
第六號 古電氣用品類 七拾貳點
第七號 雜品類 七拾九點
第八號 旅客運送具 拾點
右當局經理課ニ於テ賣却ス御希望ノ方ハ拾壹月拾日午後一時迄ニ入札相成度即時開札ス但入札保證金ハ見積金高拾分ノ一以上ヲ要ス入札心得其他詳細ハ經理課ニ於テ承合ノコト
下見期間拾壹月五日ヨリ五日間
大正八年十月
南滿洲鐵道株式會社 京城管理局

書畫鑑定法印譜落款集
鑑定界唯一羅針盤
印譜五百點 古今名家の印譜七十點 現代畫伯の印章落款の數一萬三千個
全一冊 特價貳圓 送料四十八錢
見本進呈 東京日本橋區 興文社

縄叺商 東屋商會

最新刊
實驗化學工業 全三冊
朝鮮大地圖
歐州最近外交史
大阪屋號書店

手小荷物運賃改正
朝鮮線內手小荷物運賃を來る十一月十五日より現行の約二割內即ち內地間手小荷物運賃と略ぼ同額に改む
南滿洲鐵道株式會社

實用肥料講義錄
惜しからずや!!夫れ
東洋肥料[illegible]

演說講習錄
雄辯家養成 講師一流大家
一ヶ月七十五錢
▲飛ぶように賣れる 本毛ラシャ防寒靴 特價一足金貳圓四拾錢
米山萬治郎商店 東京神田區東松下町 振替東京一六九九八

堀井謄寫版
▲事務用品並文房具
京城南大門通一丁目 堀井謄寫堂京城出張所

大連市山縣通 大連汽船株式會社

優等賞受領
於第二回京畿道釀造品品評會
銘酒 振天
仁川 釀造元 吉金酒場

前夜祭の賑ひ
灯の海 市中はお祭り氣分に喚られて素晴らしい人出

大祭來れり矣！京龍全市民が待焦れた京城神社大祭の前夜祭は十六日夜に擧行せられたが全市は殘る隈もなく

獻燈に 火を入れて市民は老も若きも只祭禮氣分に醉ふて道路と云ふ道路は人を以て埋まるばかりゾロ〳〵と足は南山へ向つて急ぐ群衆幾萬

渦を卷 いた火の海の壯觀なる京城の賑ひは恐らく從來見られぬ光景であらう。午後六時頃から神社裏山の高地で打上らる鍵屋製造の寄贈

大煙花 は風なく月なき宵暗の若空に青く紅く黄に紫に五彩の色は美しく輝き眼も眩むばかり本府前あたりのだら〳〵阪には兩側に列ねた大提灯、燦々と神社參拜の群衆は

身動き も出來ぬ程押すな〳〵と境內目蒐けて押し寄せる大鳥居附近には風船賣や露天商人の張店まで出て居た

壯嚴なる祭典
境內は肩摩轂撃の大雜踏
南山の幽境歡樂の巷と化して今宵ばかりは熱鬧の不夜城

神社境內には甍をあざむくばかりの大小幾百の提灯の火と獻燈とが臨時取附けの電燈と照り映えて其間を押され行く參拜の群衆の肩と肩と相摩する計りの雜沓、祓殿には

四箇所 に大篝を焚き神殿と相對した一隅には壯嚴に飾り寫した神輿を安置し其前方には奉納試合の催しがある、午後九時美々しく神々しく

飾附を 終つた神前に谷村齋主以下齋主伶人外參列員一同著床、先づ修祓の儀を修した、大麻司は大麻を執り鹽湯司は鹽湯を執り神饌傳供齋員參列諸員來牛等を祓ひ次に齋主昇殿し獻饌奏樂祓神に

御扉を 開き神饌を獻じ進んで大祭前夜祭の祝詞を奏し諸員敬禮の中に玉串を捧げて拜禮、次に齋員列拜、祭典委員總代石原氏も玉串を捧げ拜禮し

神饌を 撤して齋主昇殿し御扉を閉ぢ奉り同十時卅分嚴なる式を終つた。參拜の群衆は一齊に額づいたが其の後は雪崩を打つて

餘興場 へ押し寄せたので奉納角力も博奕仁輪加も爪も立たぬやうな賑ひ龍山桃山稻荷の神輿は三十五人の若衆に護られて練り込んで來たので一層の景氣を添へ木立ちの間に懸け連ねた色提灯は萬國旗の美しい下を右往左往する幾千の群衆、雜く

煙化と 亂る、紅火を齎して時實に遂一面の樂の巷と化し南山の幽境は今宵ばかり熱鬧の不夜城を現出した

善隣商業のマラソン（上）一齊にスタートを切る（下）（左）第一着用畑義君（右）第二着千石慶治君

徹宵賑ふ
御旅所は 行列の露拂ひ

龍山では御神輿が御旅所へ渡行の十七日午前八時には龍山稻荷神社の神輿と舊龍山桃山稻荷神輿とが迎への爲に京城神社本社まで遠く二里の道を奉迎し先頭になつて神幸行列の露拂ひの役を勤める筈である。十七日午後五時半神輿御旅所に著御の當夜は境內各所には數百の各町大提灯が一齊に點火して繰込み華やかな假裝行列や博多二輪加の外に放下駒佐野一行並に素人合併の大相撲を擧行し徹宵の賑ひは想像するだに若々しい氣分に喚られる、此外龍山第五、六、七區では二見ケ浦の岩組を作り祭しい伊勢參宮の假裝行列を作り伊勢音頭の調子を合せて神輿渡行の後に續く豫定の由

神幸御道筋

▲十七日 總督官邸前より大和町通を憲兵隊司令部前に出て同二三丁目を通りて新町に赴き夫れより本町通りを京城府廳前南大門通りを經て南大門停車場前に至り龍山に渡御 ▲十八日 午前九時御旅所御發幸京町三角地漢江通りを龍山驛前電車終點に至り、引返して龍山郵便局脇より陸軍官舍を經て三角地岡崎町古市町を經て南大門驛に至り蓬萊町太平町通りを京城日報社前に赴き右折して黄金町より南大門通りを鍾路二、四丁目を通りて舟橋町より黄金町四丁目櫻井町一丁目を經て若草町大通りに出で京城局横より本町に至り明治町を下りて黄金町通りに出で商品陳列館前を經て黄金町通りに出で永樂町二丁目を上りて倭城臺に赴き還御せらる

無條件にて復業
兼二浦盟休問題解決
會社側の眞意徹底す

三菱兼二浦製鐵所煉瓦爐職工二百五十名が會社に對し昇給の要求を掲げ容れられず遂に同盟罷業を惹起するに至りしは既報の如くなるが職工側の要求と會社側の發表せる條件とに非常の杆格あるに非ざりしも一部過激派の煽動的行動を爲せし者ありし爲め、節に非茲に出でしと認めらる、あれ會社側にても至誠に涉及ぶ重大問題として製鐵所の利害を顧ず飽く迄强硬態度に出で主張を支持して降らざりしが十五日午後に至り罷業職工側に於ても會社の眞意の在る處を推るゝと共に其苦衷を諒とし無條件を以て復業、就職するに至れり

職工側の要求と 會社の主張

右に就き梅野三菱兼二浦製鐵所長は語つて曰く『二十日前から熔爐職工間に寄々協議して居つた模樣であつたが會社に提出した條件は ▲賃金を五割昇給する事▲在鮮手當として三割を增加する事▲八時間勞働制とし八時以上は一時間一割の手當を支給する事▲一ケ月に公休日二日を與ふる事但公休日に出勤したる者に對しては倍額の賃金を支給する事▲白米の廉賣は將來物價は騰貴を來すも値上げせざる事▲白米の廉賣を鮮人家族にも及ぼす事であつた、右の中白米廉賣の如きは元來職工全部並に內地人職員及び職工全部並に家族全部に對し白米一石金三十圓宛にて供給して居るのを指して居るのであり、之より先會社では

大勢に 鑑み既に職工側の過の識を決して居たので、十三日私は全職工一同を集合させて下の條件を公表した

▲從來の臨時手當を自今本給に直す事蓋し臨時手當なる名稱は多少の不安あり且つ之を本給に繰入れに於て時間外勤外其他に影響する給與賃金に應じ高き者には厚く低き者には薄く割合にて三割五分乃至五割を增給す▲勞働時間を十時間制とし十時間以上は一時間每に增給を附す▲一箇月二日の公休日を設け絕對に休業せしむる事即ち眞の休日とし但し倍額賃金の支給等なきも前月に五日以上の欠勤ある者は此限りに非ず（最も此休業公休日一箇月二日は從來とても與へありし賃金の支給を爲し居らざりしものの如し）

職工側の要求の在鮮當の問題は其製鐵所職工の大部分は職に中內地方面より狩集めて來た關係上雇傭當時既に朝鮮在住の故を以て內地同職に比し殆んど倍額に近い賃金を與して其後も昇當直上在るのみならず我社では勞働能率に準ずる年四回の

昇給法 が設けてあり昨年では九月に實行し次は十一月一日に實行する筈で此他又家族に成つて居た又白米の廉賣を人職工家族に迄及ぼす事は嘗て之を實施したる際又幾多の弊害を發見した例へば會社から廉價にて之が供給を受け門外に出るや直ちに價に販賣して了ふが如き其一例で鮮人家族の實數を知るに困難な事情もあり寧ろ之が實行を躊躇せる其代りとして鮮人職工に對しては

六割を 增給する事にした處職工側にも略ぼ諒解を得たやうであつたが茲に騒虎の勢ひで熔爐職工の罷業を見るに至つたのであるが職工の如きは相變らず就業し居り製鐵所の大動脈たる熔爐の作業を一月でも休止する譯には行かないので職員全部總掛りで運轉し罷業者に對しては詰らぬ風潮に囚はれぬ樣よく反省を促して居た處十五日午後から無條件で會社の誠意に信頼して無事復業するに至つたので職工一同の能く其岐路を誤らなかつたのは自他の幸福であつた』云々

餘興は斷じて取締る
大祭と訓令

京城神社大祭に關し京畿道第三部長より左の通り訓令ありたり
神社祭典に伴なふ餘興等は成るべく盛大ならしめ民心の慰撫を圖るに於ても成るべく盛大たらむ事を希望するも左記事項は嚴に之を勵行する見込なり豫め關係町民の了解を得置きたし
一、本町通は一宜に依り一切車馬の通行を禁止する事あるべし
二、本町通りにて餘興山車等の衝突を防ぐ爲め一定の時間內一定の方向以外に進行するを許さず其時間及び方向は餘興係員に於て豫め警察署の認可を受けられたし
三、男女の如何はしき變裝は一切之を嚴禁し之を犯す者は止むを得ず檢束處分する事あるべし
七、八名以上にて假裝行列をなす時は卑猥不穩の形容に渉らざる限り差支なし
四、神幸行列及餘興行列は總て自治的に取締り責任を以て自治的に取締に任ぜられたし

在鄉軍人分會に
八百萬圓の補助
軍人の本分を盡させやうとて陸軍省から來議會へ提出

陸軍では來議會に於て現在二百五十有餘萬を有する在鄉軍人に對し國庫補助として八百萬圓の豫算を提出すべしと云ふが一說局の語る所によれば現在の支部は九十九

聯合分會 が六百四十六町村分會が一萬二千七百十四一此中には會社工場等の分會百四も含む）あつて經費等は一々五十錢の零碎な會費を徵集して何うにか遣つて居る、中には桑を持つてゐて經費も之から出す樣に遣り居る處もあるが之は

極く僅少 なもので他の大多數の分會は一から十迄苦しいやり繰りで遣つてる

らるが之では到底遣つて行けずとて在鄉軍人としての本分を盡さしめ云ふても無理である在鄉軍人會に關し陸軍として要求案を提出するのは今期が始めてゞ八百萬圓の補助が無事通過したとしても之を一萬三千の分會に割當てると年額

約三百圓 位の額は當にしか成らぬ譯で記を一人屈つたとしても是位の金額は出て仕舞ふ、其處で此の三百圓は成る可く三年間繼續補助して之を基本へ入らしめ然る後徐々と發展を企圖せしめた意嚮であると

安東縣の霜初

安東にては十四日朝初めて初霜を[illegible]

十三名溺死
渡船顛覆して

見十五日朝と又降霜あり氣溫も下降して鴨綠江驛附近には始めて十四日結氷を見たり（安東縣）

十二日朝舍營豆滿江渡船場にて折柄渡船顛覆し十三名の溺死者を出せるが內三名の內地人あり顛覆の原因は激流に押し流され操縱を誤りたるに依る（淸津）

議院建築圖案
一等當選者

議院建築圖案懸賞募集の成績は十五日發表されたるが一等當選（懸賞金一萬圓）は內匠寮技師渡邊福三氏なり（東京特電）

奇怪な流説
根も葉もない 看守の盟休

各所に於て怠業罷業と物騷がしい折柄十五日京城監獄看守等が同盟罷業を爲したる如き噂高き處より本社に於て精探したる處同監獄に於ては更に斯くの如き事實は全然無根にして完全なる秩序を保ち居れりと一派の不逞鮮人等が何等か爲にする所ありて殊更に流布したるものならむと思惟さる、、節なりとす

韋駄天
四哩を十八分で突破す
善隣のマラソン

百七十の善隣商業學校生三百の健兒が鍛へに鍛へ練りに練つた旺盛なる體力、潮なる元氣を試むる四哩マラソン競走は十六日午後二時より龍山舊練兵場で擧行された百七十の選手は就中選抜された百撰競走に依つて選抜せられた

天を衝く の慨あり、午後一時全校生徒一同は校庭に整列したる上手と聲援團の二隊に分かれ聲援團は沿道所々に散らばつて各所で應援する事になり選手は出發點たる舊練兵場に集まり制服を脫ぐと直白の運動服に著換る、午後二時となるや第一回の下級生組九十人が電光の如く二列に並び合圖と共に一齊に

スタート を切つて飛鳥の如く驅出した、宮田教諭指導して一行に居したが第一回の距離は一二三着共に約十五間位の距で決勝點に入つた、其結果は第一着（十九分四十秒）藤二古賀密男▲第二着（二十分三十秒）渡邊一郎▲第三着（二十分五十秒）前川圭三

第二回は 本科生八十人が石に身體の鍛練が進んだ丈に是又も唯ならず四哩を一氣に驅抜けて第一着（十八分五秒）本三田畑常義▲第二着（十八分三十秒）千石慶治▲第三着（十八分三十秒）吉原三喜の三等を示した立派なレコードを示したと云ふ斯くて一同隊列を作り田代同校長より賞状賞牌を授與され

本社寄贈
の銀牌は川畑常義、千石慶治、古賀密男三氏の手に歸したが全般を通じて勇壯の氣に滿ち鮮支勵界に向つて萬丈の氣を吐いたのは喜ばしい事である

驚くべき 防疫費

虎疫發生以來當局に於て防疫費として既に七十四萬圓を計上せるが現今の狀勢にて進まば既用防疫費を以て拾收し難きを以て更に防疫費として七十萬圓の豫算を要求中なりと云ふ

警察の檢印は 入らぬ
鐵道乘客心得

虎疫流行以來京城大田間及び湖南線各驛にて乘車切符を購求する際は醫師の證明書に警察署の證印を要せし處去十四日よりは南下乘客は右の證印を要せざる事となれり但し大田城大防疫所にては證印無き者は全部留置し豫防注射を施行し居りしも前記證明書のみ携帶すれば通過し得べく警察の檢印は一切不要となれり

傳染病

府內和泉町官舍佐藤ふみ（四〇）は十五日パラチブスにて鐵道病院へ▲鐵原郡鐵原邑內雜貨商米田佐次郎（三六）は十五日腸チブスと診定總督府醫院へ▲住所不定金明洙（二七）は十五日アーバー赤痢にてセブランス病院に容されたるが十六日午前死亡▲旭町一丁目四十五番地島岡利一（二〇）は十六日赤痢にて田中丸病院へ▲黄金町二丁目百九十三番地俵さき子（二七）は十六日腸チブスにて中丸病院へ

錬膽錄發行

豫て製本中なりし本社理事中村健太郎氏著『錬膽錄』は製本出來し十五日を以て發行せり內容は曾て本紙に連載好評を博したるもの是に有名なる澤庵禪師の『阿彌陀』を添附し多數のカット挿入せり好く携帶に便なり定價一圓四十錢送料八錢市內長沙洞妙心寺內京城會及び本社代理部に於て發賣す

運動界

鐵道軍出發
雪辱を誓ふ

釜山に遠征すべき鐵道軍は十六日夜中野運動部長以下選手一同龍山出發南下遠征の途に上れり今春は僅か全我にもせよ悲慘な敗北を喫し常勝軍たる鐵道が野球史に汚點を殘したのであるから補鐵何兒の雪辱の意氣は猛烈な練習を續けたるは勿論今夏來宮永の三選手を得愈雪辱の見込充分立ちたる所にて遠征するものなりと中野運動部長は語る『實戰であるから愼重に戰ふ筈で十六日出發十七日釜山著の上十七八の日大正公園にて練習をみ十九日に戰ふのであるが何である隊は鐵道軍として是最善を盡す譯でこそは立派に勝つ決心です』云々

演藝館
▲壽館 本日より新派…『…』
▲喜樂館 …

[illegible]

公示催告

京城府南米倉町二百八十三番地 申立人 永五商店事 孫永基

一、倉荷證券 但番號第二六七四號、品名昌陽產粟、荷造麻袋、個數二百五十九袋、數量內一萬五千參百六十五斤、寄託者昌陽公司、保管場所昌陽倉庫內、發行日大正八年八月十二日、到着者南大門驛、受取人永五商店、保管者京釜南滿洲鐵道株式會社最終ノ所持人孫永基

右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其所持人ハ大正九年五月二十六日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當院ニ其權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ屆出サルトキハ右證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

大正八年十月十五日 京城地方法院

公示催告

京城府本町參丁目參拾番地 申立人 眞崎龜之助

一、保管證書 番號五八四號、品名白米、數量五拾俵、寄託者山崎龜之助、京城南大門內國道運送株式會社京城支店長 矢野菊松、作成地京城府、發行日大正八年八月日、最終ノ所持人山崎

右證書ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其所持人ハ大正九年五月二十六日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當院ニ其權利ヲ屆出テ且右證書ヲ提出スヘシ若シ屆出サルトキハ右證書ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

大正八年拾月拾五日 京城地方法院

廢品被服拂下

第二十師團經理部

大正八年十一月五日入札、詳細ハ十月十七日以後官報並ニ掲示シアリ

大特賣 急告

二枚續き毛布大賣出
（特價）

四圓三十錢	二十圓四十錢
五圓九十錢	二十一圓八十錢
七圓八十錢	二十二圓五十錢
八圓六十錢	二十三圓五十錢
九圓五十錢	三十圓八十錢
十圓五十錢	四十六圓九十錢
十一圓五十錢	六十一圓八十錢
十二圓二十錢	六十七圓五十錢

メリヤス（特價品）
上下一組ニ付 四圓八十錢 五圓八十錢 六圓以上 其他各種

既製高價 仕入冬服
三ツ揃 背廣 詰襟
澤山持合あります
長トンビ オーバー
東コート マント
厚司 子供 半ズボン
セル袴 學生 男女袴
洋服附屬品一式
雜貨全部取揃あり

右冬物全部取揃、御用御命仰せらる度 御都合に特に御相談申上候

洋服雜貨商 八木商店
京城本町二丁目四九 電話二五九四番

訂正 十五日本紙特別社告中鑛業株式會社募集廣告中資本金「貳百萬圓」とあるは「武萬株」の誤りに付茲に訂正す

空知採炭株式會社 株式募集

起業界の發展と無限の需要とに促されて、益々其基礎の上に立てる最も確實有利なる採炭事業

需要の激增 現今石炭は食糧と共に世界的に缺乏を告げつゝあるは何人も否定する能はざる所にして炭價の將來は唯だ昂騰の一途あるのみなるは過言に非るべし。是れ近年全國に亘り採炭事業の勃興を示し各自其所益の殺く可き巨額に達しつゝあるかも炭價は益々昂騰の勢を示し今後の事業は全く石炭の天下と云ふも過言に非ざる所以にして更めて喋々を要せざる所なり。

本事業經營の三大要素

一、炭質の優良 本鑛區は北海道石狩炭田の中心地たる空知炭田の一部にして面積壹百七拾壹萬九千餘坪を有し花南停車場を距る約十町に過ぎず隣接に三菱、久原、其他有名なる炭鑛あり其地形所謂る高原とも云ふべく而も高からず、地下諸般の狀況良好適せり。而して其炭質の優良なるは夕張炭に比する優るも劣らず。是れ二十有餘年間同道に在つて採炭事業に從事し豐富なる經驗と該博なる識見とを有する專門技術家が詳に其實地を調査せる所也

二、炭量の豐富 本鑛區の炭層は大小多數あるも主なるものは三層にて第一層厚サ八尺、第二層六尺、第三層六尺にして走向は何れも略南北に亘り山を越えて五度にして空知川沿岸に延長し炭量亦實に豐富にして水準以上にて三千萬噸を、ロナイ澤に於て六千萬噸を算す。

三、運搬の至便 本鑛區は野花南驛を距る僅かに十町內外にして鐵道を敷設するは頗る簡易にして一千萬噸の炭量を有し以上の如く其附近は至大の便益を有し殊に本鑛區は營業の發展に伴ひ隣接鑛區の炭量運搬の三大要素を具備し全道稀有の良鑛區なるのみならず鑛區內は坑木用材にも富めり本鑛區は運搬の利便亦頗る大なるを以て實に天惠的良炭田と云ふも過言に非ざるべし。

配當の確保 收支計算に關しては現今の炭價は北海道炭相場一噸拾八圓なるも安全の計算を爲すに於ても堅固ならしめんが爲めに最も控へ目に計算し第一期二割五分、二期二割五分を計上したり。又配當は世の所謂企業家の四割乃至五割の配當を敢てするが如きを爲さず一面積立金の充實を計り以て將來の基礎を確立せん事を期せり。

絕好の投資物 之を現今及將來に於ける需給の一般的原則に鑑みるも又本事業の具體的方針に照らすも本事業の前途は實に安全にして且つ有望なるは疑を容れざる所是れ絕好の放資事業として汎く江湖に紹介し株式の一部を公募する所以なり

募集要項

一、資本金總額 金貳百萬圓
一、一株の金額 金五拾圓
一、申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
一、第一回拂込金 壹株に付金拾貳圓五拾錢（證據金共）
一、募集株數 五千株
一、申込株數單位 拾株以上
一、申込期間 大正八年十月十一日より十八日迄
但募集期間中と雖も滿株の場合は締切る事あるべし
一、募入方法 申込超過の場合は發起人に於て適宜割當す
◎定款目論見書及申込用紙等は左記取扱所へ御申込次第御送付す

創立委員長 空知採炭株式會社 安樂兼道
顧問 工學士 石浦重太郎

發起人並に贊成人（順序不同）○印發起人

[illegible]

株式申込及拂込取扱所

東京市 東京銀行本支店、同 明治商業銀行、同 帝國商業銀行、同 八十四銀行、同 東京貯蓄銀行、同 東京市中銀行、同 工業銀行京橋支店、同 內外貯蓄銀行、同 八王子銀行、同 外國合資銀行、同 中井銀行、同 浪速銀行西支店、同 北浦銀行支店、同 雜波銀行支店、同 浪速銀行京都支店、同 商業銀行、同 浪速銀行、同 知銀行、同 明治銀行、同 愛知銀行、同 浪速銀行、同 十八銀行、同 第六銀行、宇都宮 九十銀行、八王子 ……、大阪市 ……、京都市 ……、神戸市 ……、名古屋市 ……、[illegible]

東京市京橋區三十間堀一丁目四番地 空知採炭株式會社創立事務所 電話京橋三七五三番

[illegible]

みだれ咲き

第百七十五回　島山碧波作　森田久畫

艶子夫人が戻つて來た時は、最う陽脚も黄昏て、暗い室内に電燈が輝き初めた時であつた。

『唯今ッ………』襖の外に衣摺れの音がしたと思ふと、衣裳を凝らした艶子夫人が、微醺を帯びて此の居間へ入つて來た、背後には新しく子爵の秘書として抱へられた井口が從つて居た、戦事の松川も共に入つて來たのであるが、次郎吉と牧野、さうして見知らぬ婦人が二人坐つて居るのを眺めると、慌て此部屋を飛び出してしまつた。

『お貴女は？』子爵の傍に座を占た艶子夫人は、お蓮を眺めて稍怪の蹙を獲した、と同時に次郎吉と牧野の居るのを知つて顔色が變つた。

『おうお蓮ッ………』夫と婦つた兇悪井口の顔色も

土のやうに變つた。

『井口さん、私は別府の奥さんとお前さんの謀物語り聽いて、お嬢さんや………にお前さんを愛つて居たの、お前さんは白髮まで添ひ遂げる事だと思つて居たのにお前さんは此處の奥さんと心を合はして恐ろしい事を考へて居るばかりか私を捨る量見だつたね』

怨みに燃ゆる眼を上げて井口の面上を睨み付たお蓮は、生命を投げ出して居るから、少しも怯むやうな事も無く、云ふだけの事を云つてしまうと、今度は艶子夫人の方へ膝を向けた。

『奥さん、棘のある薔薇の花は美しいと云ひますが此度ですわね、私は五百圓と云ふ金に眼が眩んで門司の川卯で酌女のお類みを承知しましたが、幾らお人善しの私でも亭主まで取られては働いて居られません。貴女にはお氣の毒ですが貴女方の秘密は洗ひ浚い御前樣のお耳に入れてしまひましたからさう其の御心算で』と、云つてニツコリ笑ふと。

『御前、此の婦人は狂人のやうですから、どんなことを申してもお取上げ下さいますな』

井口が阿諛の辯明にお蓮は狂人に落ちうとした。

『おい岩造……庭師の次郎吉は狂人の娘は持たねね、さアもう一遍吐かして見ろ、鬼の次郎吉が彿になつて、此處に居る忠義者の牧野さんとお家の惡魔を取除くのだ、さァ文句があるなら吐かして見ろ』

『お前達は皆で此の私を陥れやうとするのですね』と、云つて起ち上つた夫人は、座敷の外へ出て行つたが再び姿を見せなかつた、井口も續いて後を追つたが、一同は手を拍つて笑ふのみで呼び留めやうともしなかつた。

『人間の皮を被つて居るだけあつて誰れも彼れも良心の呵責に堪へぬのだらう』

子爵は女中より艶子夫人が松川井口を連れて外出した事を聽くと、唯だ是れだけの事をいつて淋しく笑つた、が左様斯うする内に藤村伯爵から掛つて來た電話を聽いた子爵は、

『承知しました、喜んで御要求に應じませう、本人の荷物は明日全部届けます』と、答へて電話を切つてしまつた……

其の翌日であつた、子爵は故の二階堂家を訪れ、久し振りに二人の愛子と手を握つた、さうして初江夫人の復歸を懇願したが老伯は頑として夫に應じなかつた、が再三再四の懇望に老伯も我を折り、

『夫ではいづれ時期を見て左様云ふことにしやう』と、諾の一言を與へた。

お伊代は晩て京城へ戻つた！次郎吉とお蓮は山中家に仕へて居る、尤も二人は一旦其筋へ自分の罪を自首して出たのであるが、證據不充分で免訴になつたのである、が茲に意外なのは牧野の身の上であつた、彼れは名古屋の某富豪の次男であつたが、操子と同じやうな境遇に在つた爲め、東京へ出て來て運轉手なぞをして居たことが判つた、子爵は牧野の身許が判ると操子にしやうと其親許に掛け合ひ、其交渉が纒まつた結果、昨日までの運轉手は今や某私立大學へ籍を置くやうになつた。

艶子の消息は傳はらなかつたが。此の頃では井口とも別れて各所のバーへ女優のやうな風をして出沒して居る、弟の一家を我物にしやうとした出官は其の後山中家へ出入をしなくなつた。(完)

懸賞川柳（十一）　劍花坊先生選

美人

美しう寫つた寫眞離されず　京城　浪夫

新聞で美人にされるふしあはせ　京城　飛入坊

美しく生れた娘不孝者　清州　町の人

美くしい被告に判事目を瞑り　龍山　一家

美人其美人ちき居なくなり　京城　一錢生

家倉に替へた女房の美くしさ　清州　木偶坊

京日紙上俳句會　＝出句發表＝

▲蜻蛉▼

蜻蛉にせがまれ白髮の翁蜻蛉狩

夕陽浴び蜻蛉飛ぶ田や十萬町

三伏の暑さ知らぬ丸蜻蛉釣り

蜻蛉釣り今日一日は暮れに鳧

あぜ道に露はまだひぬ赤蜻蛉

小春日に露の晴れけり赤蜻蛉

蜻蛉やあたり見廻す北の眼玉

赤蜻蛉西にや飛ばむ將た南

道分けに思案顔なる蜻蛉かな

豐年や秋津蟲飛ぶ空靜

蜻蛉や止る間の手際かな

微雨去つて水に蜻蛉の夕べ哉

秋風に枯草立ちし蜻蛉かな

物靜かに湖心に見込る蜻蛉哉

蜻蛉飛むで女塾の庭の空靜

子の飛ばす飛行機襲ふ蜻蛉哉

風そよぎ廣野の晴な蜻蛉飛ぶ

蜻蛉野を疲れて眠き儘かな

噴水を羽搖れ／＼に飛ぶ蜻蛉

蜻蛉や朱の鳥居まで瀧飛沫

蜻蛉釣りを眞似ふ小供悲しく

放課後の校庭ヒソと飛ぶ蜻蛉

紺碧の空廣々と赤蜻蛉

ほとばしる水門の飛沫や黑蜻蛉

空高く飛ぶや蜻蛉の新領土

日の出日の入る里や飛ぶ蜻蛉

さんぼ飛ぶ江の漁船と日は淡く

赤さんぼ思ひ出多き幼な事

夕蜻蛉薔薇の實赤く蜂まれり

微風來るひそみし蜻蛉皆立てり

蜻蛉や休憩短かし秋の日に

柿みのる空にあふるゝ蜻蛉哉

一七七 夕虹や蜻蛉飛び交ふ羽の光り

一七八 秋津むし崎半島の高嶺に

一七九 廢墟防ふ我に友あり蜻蛉群れ

一八〇 尼御前の庵に蜻蛉の舞低し

一八一 野は黄金蜻蛉は群り遊ぶ哉

一八二 種々の舞をまふかや赤蜻蛉

一八三 蜻蛉や試錬に倦みし輕業師

一八四 優作萬歳二百二十日の赤蜻蛉

一八五 羽鳴り聞く新居の斧に蜻蛉哉

一八六 蟻の餌になりし蜻蛉庭の松

一八七 釣竿の餌に惹ひくる蜻蛉哉

一八八 蜻蛉や蓮の群れ夕暮れる

一八九 赤蜻蛉頻りに多き夕かな

一九〇 百舌去つて案山子の徳や赤蜻蛉

一九一 秋晴れや傘の下行く赤さんぼ

一九二 石を捕へて蜻蛉の巨眼じつとある

一九三 蜻蛉に稲うな垂れし實のかな

一九四 國旗日靜かに庭の晴の蜻蛉哉

一九五 銃組んで兵憩ふ野や赤蜻蛉

一九六 空赤き城跡に蜻蛉數へけり

一九七 蜻蛉や夕日の殘る羅生門

一九八 汗拭ひて休む鍬柄に蜻蛉かな

一九九 日に細る夕顔に赤き蜻蛉かな

＝蜻蛉終＝

▲砧▼

砧打つ調子はづれや稚兒の聲

鈴蟲の名殘惜しさや砧の音

八道の秋知り顔や砧かな

去年よりは老にし母の砧かな

世界平和を砧の囃し面白う

砧絶にこほろぎのみの夜なりけり

新妻の砧打つ手に稍栗落

寫眞

京城旭町一丁目　河原寫眞館　電話一九八一番

夜寫眞

京城旭町一丁目　河原寫眞館　電話一九八一番

▲正誤▲

▲砧▼

月出でゝ影もうつなる砧哉

相倚りて相打つ砧月の里

兒の學ぶ音讀に砧和してけり

更けし夜は北斗に響く小夜砧

旅窓の夢破れてさむし小夜砧

寢ぬ起きし人の砧か耳おぼろ

霜冴にて十里も近し砧かな

心急ぐ乳貰ひ路や小夜砧

かんてらや睦みひ打つ鶯砧

霧こむる丘の灯や遠砧

戀の夢破れて尚し砧の音

更かしても月夜たのしき砧哉

海に入る大河音なし砧打つ

打ち始に笑ひくづれし砧かな

ひとひとり來て街の夜や砧の音

澁柿を剝ぐ夜更けて砧かな

廿日月を滑さドる江岸砧一しきり

笑聲もれて砧の亂れかな

蚊帳廢めて砧の音に眠りけり

新藁の香に移る砧の夜の淋しさ

遠砧黍刈り上げし月の里

衣擣つ母にもつろゝ貞弟子

山居して砧婚しと砧打つ

句座しばし默して砧聞く夜哉

月天心砧の小家照らしけり

月白くあの山の端に砧かな

夜も更けん砧亂るゝ小家かな

月更けし湖へ響かす砧かな

離れ家に一人淋しや遠砧

砧女に鹽の嫂の太さかな

禰の御小槌をふれば藍のつく

打つ人もあるに寐て聞く砧哉

離愁秘めご狂ふ拍子よ打つ砧

宿の娘の談し上手や遠砧

砧打つ乙女まぼろし郷里の月

月明り物音秋めく砧かな

村人の眠りかに砧響きけり

花嫁の昨日にまさる砧かな

砧打つ音に明くる朝かな

松の随月に煙りぬ遠砧

城壁にしごゞ雨ふり砧の音

水郷や月ほの／＼ご遠砧

砧打つ傍長煙管のヨンガミが

月に出でゝ歸るに惜しき砧哉

狂へるが如く犬吠にたり砧打つ

▲蜻蛉▼

庭球コートを廻して飛ぶや夕蜻蛉

蜻蛉網持の兒等に野は夕燒けり

世の無常を思ひ浮ぶや赤蜻蛉

蜻蛉飛ぶ秋蜻蛉飛ぶや萩の水

赤蜻蛉乾板移す午後の庭

大時化の後靜かなり飛ぶ蜻蛉

洗濯の園に尾打つ蜻蛉かな

赤蜻蛉海の果見て陷りけり

蜻蛉や草を刈る子の忍び足

蜻蛉や去年いにし子の祭事

止りかへて翠を下げし蜻蛉哉

御手洗に尾を點し去る蜻蛉哉

蜻蛉追ふ母は又追ふ夕陽かな

新刊紹介

▲改造（一の七）社會主義研究に關する名家の說及び秋季特別號創作九篇を集む其他種々趣味ある記事頗る豐富なり（八十五錢）東京芝櫻田久保町七共社

▲中外新論（三の一〇）小松從南氏の主宰せる雜誌にして硬軟兩樣の洗錬せられたる記事を掲ぐ（三十錢五）

英首相借款問題

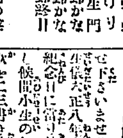
[illegible]

▲黎明集（福田法學博士著）

東京芝愛宕下町（二の二共社）

福田徳三博士が折に觸れ時に接して發表したる論說講演を蒐録したるものにして世界の平和望みなし（改造途上の世界）世界に於ける日本、戰後の經濟、黎明日本の諸問題等適切なる時事を捉へて世界の活問題を論陳したる有益なる者なり附録に英佛文論說あり（四圓三十錢東京神田區駿河臺鈴木町一六佐藤出版部）

後者の領分



▲子煩惱女孃御目に掛つて御相談申し度う御座います御さしつかへなくば紙上にて御住所姓名を御知らせ下さいませ、子を持つ女の友より

生年大正八年十月三日滿二十五才の紀念日に當り禁煙を斷行するを機とし候間小生の紀念として可笑しな狂歌を二三書き並べ候『やめられぬよな煙草でも克己の力にや叶やせぬ』『半生は煙りさなつて消ゑにけり其スイカラやあわれなりけり』（江陵近藤秦輔生）

▲『親族の者』と稱せらるゝ人へ、上女中の御希望の人好き日あり本社受附迄申出でられ度し（係）

▲煙草屋、小間物屋の用る椅車御不用又は何れかに賣物あれば御知せ下さいません か御願申し上ます（箱東必要生）

▲京城某學校生君は何の職務なるやここに夜間などは何を致し居り候や消ばかり食し居り候や消ばかり食し居り候や（?）帽子なかぶせ列車を通す際長の千萬也本課の方に於ても少し注意すべし（患者生）

▲正則に朝鮮語を研究せんとする人に参考書数冊安價に譲り度し中には変錯須知等絶版となりたる珍本も在ります（原蘭珍野村美）

▲子煩惱の女に告ぐ私の方に貰つて頂き度い子供があります京城に在住の方が御住所を知らして下さいませ（以下[illegible]）

兒弟在に告ぐ御同情に堪へず私は頭義淵五十八...から御相談に應せん（[illegible]）

京城の名物（南大門通り）

カフエータイガーの

洋食　こすき燒

將棋新手合　其四

△京城　滿呂木光治（六段）

飛落▲釜山　園田□（二段）

（於京城若草町九七滿呂木將棋所）

圖は前號指了迄の局面

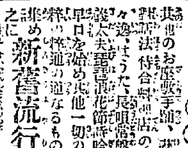
△滿呂木氏持駒　歩

△六四龍馬▲七二飛△七四歩▲八五桂△六五龍馬（へ）▲七七歩ナル△同銀▲同金△同桂△四五桂△四六銀▲二六龍馬（ト）△三七歩▲五四銀△六四桂▲六五銀△七一桂ナル△同金△六五歩▲八八角▲七六金▲四四龍馬（以下次號）

△滿呂木六段講評

△（一）六六龍馬は惡しく七五歩と引く（以下次號）

◎人に好かるゝ隱し藝



▲踊り總稽古應用自由自在

▲社交の秘訣

社交と宴會になくてならぬは隱し藝、藝のある人は大人今娘からは愛くせられ目上の人からは引立てられる。門下京城の紳士紳士淑女諸君に大流行のチヨットしたお座敷手品が、酒席ステテコ踊、ハダカ踊、かつぽれ、わしが國さを始め

其他のお座敷手品、素人藝、女中の遊び方、法特合藝者の遊び方、都々逸、潮來、大津繪、長唄、常磐津、清元、新内、歌澤、端唄、浄瑠璃、詩吟、劍舞、俗謠、其他一切の隱し藝中の早口を始め慣れたものゝ無數數千を全部網羅せる秘訣の一大寶典は之に

新舊流行歌

（[illegible]）……等迄を此の一册の寶典に集めて本書一册あれば如何なる宴會に於ても決して恥をかくやうな事が無く何時も人を驚かす事が出來る。

▲本書は菊判三百數十頁の大册にて定價一圓五十錢の處此際特價八十五錢に限る今日中に...

隱者にはハガキで破産の恐れ...

特價　ハガキで

▲代金は前金又は切手代用一割増、大中の申込は九十六錢送料不用...

東京市本郷區...振替東京...

四日市...

三光社本店

いやでも治る

りん病七日藥

○慢性麻病○急性淋病○前立腺炎尿道狭窄症○女子の帶下○膀胱加答兒

早く治る不思議の藥七日分服用せよ金壹圓五拾錢

大阪堺筋八幡筋北山口藥院

花柳病專門　古賀病院

美味なる虫下し最良藥

美味なる虫下し最良藥

子供さんとにねくわー

大人用

まくり

本舗　大阪東區平野町

岩崎大活堂

販賣所　全國各地藥店にあり

定價五錢　十錢　卅錢　五十錢

蛔虫諸症、疳蟲、熱、夜泣の蟲、乳あまし、蟲腹痛み、疳熱の蟲、蟲胸惡く、勞熱の蟲、蟲ぜき、驚風の蟲

近來粗悪なる類似品出す爲居の商標ご岩崎大活堂に御注意を乞ふ

此出來秋の收穫を全うすれば　六百萬石の米が浮く

見よ米價の自然に調節さるべき一新機軸

『今年しや豐年穗に穗が吹いて』といふ通謡の通り近年稀有の豐穫で出來秋の實りは尾張黄金とも見えつべく彼方でも此方でも穗々と實りの美事に滿たさる、暢はち正に平の姿であるが併し此豐作を控へて下落すべき筈の米價が些か好くも其上の如く下落せぬは何故だらう、いろ／＼の原因があらうけれども其生産の増加する割合よりも消費の増加する割合の方が多いことを最大なる一因として數へねばならぬ。

▲併し好んで米價を吊上るは神を以て取締るとできやう農家の騰貴を悦ぶのは無論永久の現象ではなからうから消費を節する米價の騰貴に伴つて國民各個の自覺に待つの外はないので當局の代用食品獎勵の如きも藥より必要には相違ないが茲に一つの政府も國民も未だ心の付かぬ一大缺陷のあることを見のがしてはならぬ其れは何かと云へば卽ち鳥や鼠の如き害蟲の爲めに田圃に於て失はるゝ其巨額の米穀であることを閑却して居る一事である。

▲收穫期は常に何千萬石と云ふ米穀は常に根據ある材料によつて上ることを、格別の原因なしに敗北の分に鼠の及ぶ被害を生じて徐徐の損失を數ふるに引を見るが常であるといふまでもなく雀子にも見られる通りの損害を野鼠の爲めに受けてゐる、而して此れ等はあつて更に數年の後となつて今日の害に至るまでの家鼠の爲めに食ひ減らさるる高も少からず其に之を計上する時は全國を通じて六百萬石を下るまいとは専門家の推算であるが今假りに此の六百萬石が眼前に供給されたらどうである、食糧問題に資する所は大なるものがある。

▲此に各地の驅除にも種々雜多の方法はあるが何しろ廣い／＼田圃に應用するには簡單にして而して奏功の最も確實な方法を採らねばならぬ其れには殺鼠劑で有名な『猫イラズ』に優るものはない世間では『猫イラズ』と云へば鼠を捕る藥とのみ考へて居るが其効用は決して鼠族に對するのみではないと云ふのは實は此發明者たる日本橋本石町三丁目成毛商店主人成毛英之助氏も最初は氣付かなかつたのである、が近頃下總印旛沼方面へ俄に夥しき新鼠の『猫イラズ』が發見されて何か特殊の原因がなくてはならぬと經營上の參考として詳しく調査した處意外にも其れが殺鼠の目的に使用さるゝので鴨や鴨を捕へる爲めに使用さるゝのでなくて殺鼠の目的を果すの方法は水邊に棲息することを確めた其の方法は水邊に棲息する蟲鳥を捕へて其腹を剝き少量の『猫イラズ』を挿入して適宜の位置に撒布して置くので鴨が一度之を啄めば忽ち斃死するとが判つた。

▲ソコデ此の仕方を移して鳥類驅除の目的に使用したら可からうとの考へを起し先づ試みに『猫イラズ』を浴いて之に粉を加へ其上に米粒を塗して田の畔に撒布し置きたるに際して之を食つた雀も悉く其害を去らず斃死するを見た更に又之を蛹の發生し挿入して鳥と野鼠とに試みたる出來秋の收穫の効を示したので此『猫イラズ』を提供し國家の食糧問題に貢獻する害と聞く。

鼠!!! 退治は今

不思議よくきく最も手輕な

鼠とり藥　猫イラズ

北堂の猫イラズは百五十年の殺鼠力がありますが然かも使用法は誠に手輕で安全でそれで鼠が腐敗せずにミーラとなる不思議の藥藥なり

●新容器の提供●新容器の定價卅錢にて永年貯藏するも藥効變化なく使用法に就ても至つて簡單なり シボリ出式にして頗る便易なる容器あり猫イラズに御注意を乞ふ

定價　一圓　五十錢　三十錢　二十錢

發賣元　東京日本橋區本石町三の五　成毛英之助

藥種問屋　振替東京一九二七番

佐賀市白山町東詰　猫イラズ九州支店

販賣店　最寄藥店に無之節は直接御注文あれ　（但郵券は一錢五厘切手に限る）

しら毛染

君が代

染着完全　しら毛染

染法極便にして三十分に自然の黑髮の色に染る

本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり

定價　別製三十五錢　特製三十錢

東京市淺草區藏前井町　しらが染本舗　山吉商店

肺結核　肋膜炎

全國到ル處ニ取次テナス當寺内發賣ノ諸肺病、肋膜炎、肺結核、肺炎、如何ニ重症モ若シ御用薬ナキテ一ト月分二十日分服用シテ効ナキニ於テハ代金ヲ返却スベシ...（[illegible]）

發行元　長崎港口檢疫所附近　極樂寺

京日案内

▲服下物裁縫　呉服専門　御相談致候　使宜に集す

南大門通一丁目七九七番　七谷洋服店

▲得意廻店員入用　本人來談あれ充分優遇す

旭町二ノ三七　電話一九一一番　大西洋服店

▲給仕採用　年齢十七歳以下希望者本人來談ありたし

長谷川町　鮮土木建築協會

▲得意廻店員入用　保證人本人乞來店　但市内確實

本町九ノ三　有江洗濯店

▲事務員募集　地人無經驗者履歷書持參本人午前中來談

南山町一九　京城殖産會社

◎新鮮萬果燒商

太平通一丁目一二三　小松商會

▲勤社員入用　及集金人

（學歷書持參午前中來店あれ）京城黃金町一ノ八五（電五六七七）

帝國生命保險會社京城支店

▲年金恩給　長期低利貸出　金額立替可致候

京城永樂町二丁目西本願寺門下角　江州屋本店

有價證券現物賣買　京城黃金町一丁目　東亞株式店

（電話二〇三振電トヌトカ）　（受花ケイジヨウトカフ）

恩給立替　金は證書を渡し可致候　地方は規定書送呈　京城若草町郵便ポスト前　西村商會

▲新築移轉　（完全倉庫）　京城黃金町一丁目一六一番地　電話二六一八番（?）

質店　鈴木豊

毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製標本調製　鳥獸毛皮　京城本町二　電話長三六五番

結核病者及虛弱者　特效滋養劑　カロピス

▲カロピスは醫學士榎本芳二先生創製に係る魚肉蛋白滋養劑にして獨特の香味を有する易消化性の滋養劑なり。

▲カロピスは蛋白質以外尙人體營養に必要なる成分の多量を含有し、食慾催進、血液新生、神經强壯、營養增進の作用顯る顯著なり。

▲カロピスは實驗醫家により、結核病者及同素質者、神經衰弱、貧血、胃腸弱等の病者並に一般虛弱者に對する滋養强壯食料として最も適當なりとの批判を得たるものなり。

▲カロピス實驗報文集あり御申越次第進呈すべし。

▲價格（二三五瓦入　金壹圓九拾錢）（四五〇瓦入　金參圓五拾五錢）

本舗　東京府下　發賣元　三共株式會社

模造品續出す御注意

オキシパサー オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイクルフアラデー氏の發見唱道に係りダイヤマグチチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用するに依る治療器にして使用後直ちに

賦閉の弊調を脈疾病の根元を絶滅せしむる偉力を有す理療法中の特に賞贊すべき物たり多年病者用に効なき難治の

病者に適む

効力永久にして他の藥品等の如く代用を要せず使用費用にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得、脚氣、リウマチス、神經痛、胃腸病、神經衰弱、腦病、心臟病、梅毒病、肺病、結核、喘息、其他一切の諸病に偉大なる効力あり實驗者の感謝狀中込次第無料贈呈す

定價金參拾九圓

本器の効力卓越なると共に異常なる大發展とを來し近時無數の模造品續出せり効力永久にして的確なる眞正の本器に御注意あらんことを切望す

特約店　酒本商店　明西商店

胃腸藥之覇王　ゴルフ

効能の卓絶なるを以て實行飛ぶが如し

惡疫の豫防にゴルフ

胃腸にゴルフ

飲過食過ぎにゴルフ

食後にゴルフ

病後にゴルフ

不思議な程よくきく。

改正定價　三十五錢　七十錢　一圓八十錢

東京室町三丁目　泰昌製藥株式會社

振替東京三七〇七

全國藥店にあり